

# Ver4.3 調査回答ツール操作マニュアル

製品含有化学物質調査・回答マニュアル  
[ Ver4.3 調査回答フォーマット対応 ] 2013.09.05 第 1.1 版対応  
<グリーン調達（旧 JGPSSI）調査回答ツール Ver4.31 対応版>

**2013 年 09 月 05 日 第 1.1 版**

**（ 調査回答ツール Ver4.31 対応 ）**

**発行：国内 VT62474**

## 改訂履歴：

2013.07.26：新規作成 第1版（調査回答ツール Ver4.30 対応）

2013.09.05：物質群分類 No.の修正に伴う第1.1版の発行（調査回答ツール Ver4.31 対応）

改訂内容：

- ・ Ver4.30 ツールで追加した 28 物質に設定した物質群分類 No.一部が、JIG-201（包装材）対応の調査票で既に使用されているため、28 物質全ての物質群分類 No.を廃番とし、新たな番号を設定しました。
- ・ 上記に伴い、本マニュアルの別表 4 及び別表 5 の内、関連する使用用途分類コードを修正しました。
- ・ 上記により、調査回答ツールは Ver4.31 にバージョンアップしましたが、Ver4.30 からの変更点は、関連する第二階層及び第三階層の物質群分類 No.の表記及び使用用途分類コードの修正のみであり、その他の変更はありません。

# 目次

はじめに.....	P.3
1. Ver4.31 調査回答ツールの特徴.....	P.3
2. Ver4.31 ツールのパソコン動作環境、対応バージョンなどについて.....	P.5
3. Ver4.31 ツールのダウンロード.....	P.6
4. Ver4.31 ツールの起動.....	P.6
4.1 マクロの設定とセキュリティ.....	P.6
4.2 言語選択.....	P.8
5. 調査依頼元による調査依頼データ（JGP ファイル）の作成.....	P.10
5.1 基本情報の入力.....	P.10
5.2 調査対象アイテムに関する情報の入力.....	P.10
5.3 JGP ファイルの保存（SAVE JGP）.....	P.11
5.4 調査回答ツールの終了.....	P.12
5.5 JGP ファイルを調査回答元へ送る（調査依頼）.....	P.12
6. 回答元による回答データ（JGP ファイル）の作成.....	P.13
6.1 調査依頼元からのデータの読み込み（LOAD JGP）.....	P.13
6.2 回答元が入力する項目.....	P.14
6.3 含有化学物質群の情報入力画面（第二階層）への遷移（移行）.....	P.16
6.4 含有化学物質群情報の入力（第二階層）.....	P.16
6.5 含有化学物質情報の入力（第三階層）.....	P.22
6.6 エラーチェック 2 の実行（チェックの範囲は第二階層および第三階層）.....	P.26
6.7 入力した内容の調査回答フォーマットへの保存（SAVE JGP）.....	P.28
6.8 調査回答ツールの終了.....	P.30
6.9 JGP ファイルを依頼元へ送る.....	P.30
7. 旧フォーマットデータ（Ver3.xx, Ver4.0x, Ver4.1x 及び Ver4.20 の JGP ファイル）の読み込み.....	P.30
8. エラーチェック関連ボタンの機能.....	P.32
8.1 エラーチェック 1（第一階層のボタン）.....	P.32
8.2 エラー確認（第一階層のボタン）.....	P.35
8.3 エラーチェック 2（第二階層のボタン）.....	P.35
8.4 エラー確認（第二階層のボタン）.....	P.36
9. その他の各種ボタンの機能.....	P.37
9.1 言語設定.....	P.37
9.2 Copy.....	P.37
9.3 Clear.....	P.38
9.4 昇順・降順.....	P.38
9.5 並べ替え.....	P.39
9.6 ADD JGP.....	P.39
9.7 見出し変更.....	P.40
9.8-9 部品一覧印刷、印刷.....	P.41
9.10-11 CANCEL.....	P.41
別表 1. 第一階層のチェック内容一覧.....	P.42
別表 2. 第二階層のチェック内容一覧.....	P.43
別表 3. 第三階層のチェック内容一覧.....	P.43
別表 4. 使用用途分類の整合性チェックロジック.....	P.44
別表 5. 三階層目データフォーマット説明.....	P.48
別表 6. 調査回答ツールバージョンアップ管理ルール.....	P.50

## はじめに

本調査回答ツール操作マニュアルは、【製品含有化学物質調査・回答マニュアル[Ver4.3 調査回答フォーマット対応]】（以下「Ver4.3 調査回答マニュアル」）を上位文書として、パソコンを使用した電子メールによる電子データの交換を前提に操作方法、データ入力方法を説明しています。従って、Ver4.31 調査回答ツールで画面表示されるフォーマットの各階層の調査項目と回答方法の説明については、必ず Ver4.3 調査回答マニュアル（最新版）を参照下さい。

注)：本ツールにはマクロによるプログラムが組み込まれています。又、入力対象以外のセルは保護されていますが、これらの保護解除およびプログラム変更は一切出来ませんのでご了承ください。

### 1. Ver4.31 調査回答ツールの特徴

注)：本ツールは、旧 JGPSSI の Ver4.20 ツールの各種機能を踏襲していますので、従来と同様の操作方法で利用出来ます。Ver4.20 ツールに対し、Ver4.31 ツールの第二階層と第三階層には、物質が追加されています。この詳細は Ver4.3 調査回答マニュアルを参照下さい。

#### ① ツールの種類：

Ver4.31 調査回答ツールは以下の一種類のみを設定しています。このツールで作成する JGP4 ファイル（以下「JGP ファイル」）の拡張子は、jpg4 です。（回答形式は従来の Ver3 調査回答ツールの標準型の考え方を踏襲しています。）

#### ・ ツール名称：

グリーン調達（旧 JGPSSI）調査回答ツール Ver4.31 [JGP4 ファイル（拡張子 jpg4）]

#### ② ツールの画面構成：

従来（Ver3）の第一階層（基本情報/製品・部品・材料情報画面）、第二階層（含有化学物質群情報画面）に加え、新たに第三階層（CAS 番号レベルの含有物質情報画面）を設定しています。Ver4.1x ツール同様に仮想の物質群 J01 を設定すると共に、各 SVHC の詳細情報入力は全て第三階層で行う仕様としています。

#### 注意事項 1：

第二階層の物質群である J01 は、仮想の物質群であり、ツールの操作性向上を目的として設定しました。従って、データフォーマットには J01 に関連するデータは存在しませんので、特に、自社システムを通して JGP ファイルを作成（出力）する場合などで、例えば 300 行の物質群単位行に J01 を、600 行の使用用途・部位単位行に J01-J-0、J01-J-98 を設定（出力）しないで下さい。Ver4.31 ツールでは、上記の J01 に関連したデータが設定されている JGP ファイルを読み込むとエラーする仕様を追加しました。

#### 注意事項 2：

J01 の物質群の総含有量(mg)のセルは保護しているため入力出来ません。

#### ③ 多言語対応：

Ver4.31 ツールには、日本語、英語、中国語の各国語ツールが組込まれてあり、ユーザーが各国語を選択する「多言語対応ツール」の方式を採用しています。

注)：ただし各言語ツールで作成された JGP ファイル間の互換性には、従来と同様に制約がありますのでご了承下さい。

#### ④ 日付項目（年・月・日）の入力および表示形式：

各言語ツール共に統一し、YYYY/MM/DD としています。（JGP ファイルのデータ型式と同じ）

#### ⑤ 旧フォーマットデータの読み込み：

1) Ver3.xx 以降のツールで作成された JGP ファイルは、Ver4.31 ツールで読み込めます。（ただし、読み込めるデータには制限があります。）

注1) : Ver3 の詳細型の JGP2 ファイルは、一度、Ver3 ツールで標準型の JGP1 ファイルにコンバートする必要があります。

注2) : 旧フォーマットデータ (Ver.1,Ver.2) は、Ver4.31 ツールでは読み込めません。

- ⑥ LOAD したファイルの Ver.情報の表示 :  
読み込んだ JGP ファイルを作成した調査回答ツールの、バージョンおよびツール名称が表示されます。
- ⑦ Ver4.31 ツールでは、SAVE JGP の際に保存する JGP ファイル名の先頭にツールバージョン「V4.31\_」を自動的に追加する機能を選択出来ます。従来の JGP ファイルとの識別が容易となります。
- ⑧ 各種のツール機能 : (従来の Ver4.20 ツールの基本機能を踏襲しています。)
- 1) チェック機能 : 各画面に入力したデータのチェックを自動的に行い、エラーとワーニング内容を表示します。(エラーチェック 1 およびエラーチェック 2 ボタン)  
主なチェック内容 : ・ 記入漏れチェック ・ データ不整合チェック  
・ 年月日チェック ・ 全角半角チェック ・ 文字数、桁数チェック  
・ 含有判定 Y/N と使用用途分類の整合性、均質材料含有率および SVHC の調査単位あたりの重量濃度 (自動計算値) に対する使用用途分類との整合性チェック
  - 2) 並べ替え : 調査対象アイテムの各項目をキーにしたデータの並べ替えが出来ます。
  - 3) 各画面の印刷 : 基本情報/製品・部品・材料情報の画面または化学物質含有情報の画面を印刷出来ます。
  - 4) その他 : 他の JGP ファイルの追加読み込み (ADD JGP) など。

## 2. Ver4.31 ツールのパソコン動作環境、対応バージョンなどについて

### ① 対応するエクセルのバージョン

- Excel 2003 Windows 版
- Excel 2007 Windows 版
- Excel 2010 Windows 版 (32bit 版、64bit 版)

注 1) : Excel 2000 および 2002 版については動作保証の範囲外ですが、不都合があれば旧 JGPSSI のホームページのお問合せで連絡下さい (2014 年 3 月迄の予定)。

\* Excel および Windows は米国 Microsoft corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

### ② OS は上記エクセルが対応する Windows XP, Windows VISTA および Windows 7 とします。

注 1) : Excel 2010 の動作保証範囲は、以下の OS と組み合わせです。

- ・ Windows 7 Ultimate 32bit + Excel 2010 standard 32bit
- ・ Windows 7 Ultimate 64bit + Excel 2010 standard 32bit
- ・ Windows 7 Ultimate 64bit + Excel 2010 standard 64bit

注 2) : Windows XP + Excel 2010 の組み合わせなどについては、各社の判断でご利用下さい。ただし、上記の組合せで動作しなかったとの事例 (国外) が報告されています。

### ③ 欧州言語パソコンで英語版ツールを使用する場合の対象言語範囲 :

ドイツ語、フランス語およびスペイン語とします。

### ④ 動作環境 (OS、EXCEL) の言語別一覧

	日本語版 OS, EXCEL	英語版 / ドイツ語 / スペイン語 / フランス語版 OS, EXCEL	中国語 (簡体) 版 OS, EXCEL
日本語版ツール	○	×	×
英語版ツール	○	○	○
中国語版ツール	×	×	○

○・・・動作保証対象  
△・・・動作保証対象外

### ⑤ JGP4 ファイルの互換性一覧

	日本語版ツールでの取込有無	英語版ツールでの取込有無	中国語版ツールでの取込有無
日本語版ツールで生成した JGP ファイル	○	△	△
英語版ツールで生成した JGP ファイル	△	○	△
中国語版ツールで生成した JGP ファイル	△	△	○

(注) Ver3 ツール同様に OS デフォルトの文字コードで、JGP4 ファイルの入出力を行う

○・・・互換性あり  
△・・・半角英数字のみ互換性有り

注 1) : Ver4.31 ツールで出力する JGP ファイルの文字コードは、従来と同様に、使用するパソコンの OS をデフォルトとしています。多言語用の文字コードである、Unicode (UTF-8) には対応していませんので、各言語ツールで作成された JGP ファイル間のデータの互換性には制約があります。

例 : 中国語環境のパソコンで、日本語環境のパソコンで作成した JGP ファイルを読み込んだ場合、漢字部分に文字化けが発生する事があります。

注 2) : JGP ファイル名に中国語文字が入力されている場合、日本語環境パソコンでは保存、読み込みが出来ません。

### 3. Ver4.31 ツールのダウンロード

- Ver4.31 ツールは下記の国内 VT62474 のホームページに公開しています。どなたでも無料でお使いになれますので、ダウンロードしてご自分のパソコンに保存して下さい。

国内 VT62474 のホームページ： <http://www.vt62474.jp/index.html>

メニュー ⇒ グリーン調達 (旧 JGPSSI) 調査回答ツール Ver4.31 及び各種マニュアル等  
⇒ Ver4.31 調査回答ツール.xls

注 1) : 本ツールは機能の修正、改善などのためにバージョンアップすることがあります。お手元にダウンロードしたファイル (ツール) が最新版であることを確認の上、お使い下さい。(バージョンアップ管理ルールについては別表 6 を参照)

注 2) : 本マニュアルは、各社が自社の購入品についての含有化学物質調査の依頼をする場合、JGP ファイルに必要な情報を入力し、サプライヤ (回答元) に送付する事により行う事を前提に記述しています。詳しくは Ver4.3 調査回答マニュアルの 16 ページ「8.運用フロー」などを参照下さい。

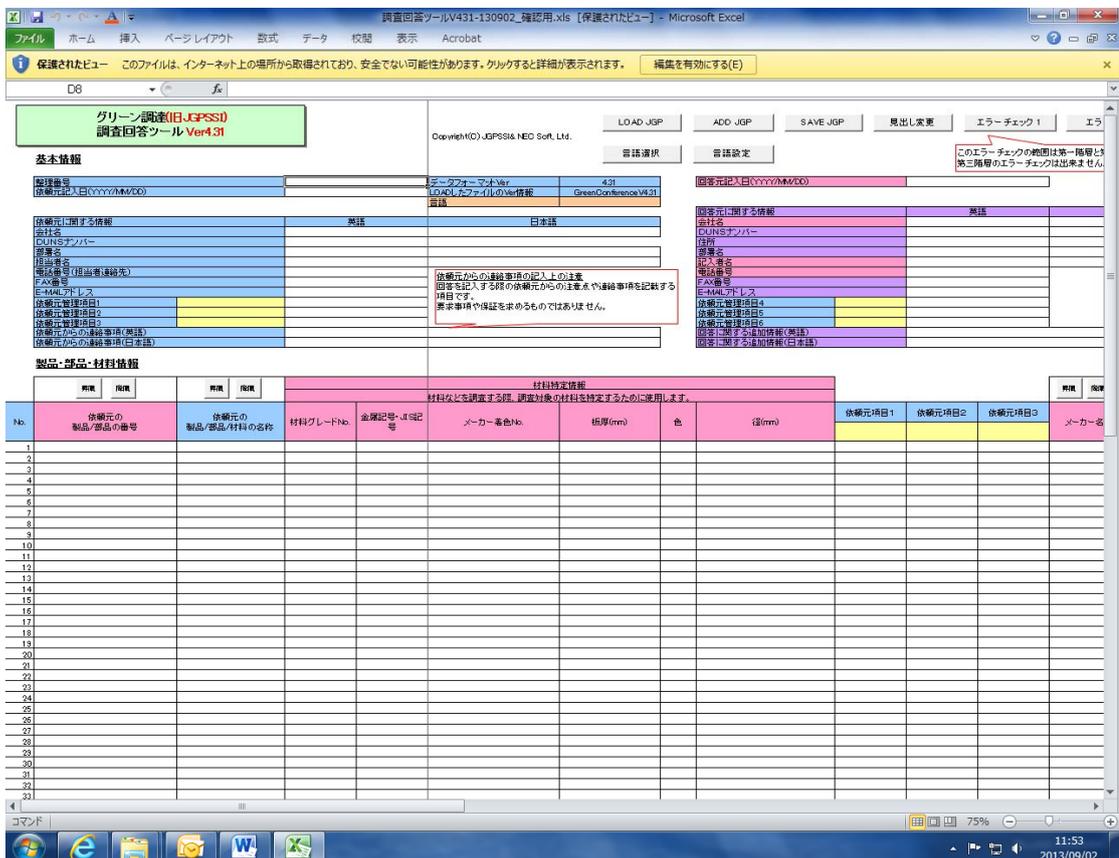
注 3) : 本マニュアルの説明ではパソコン上の画面表示の例を示しますが、一部を除き、パソコンの OS は Windows 7、EXCEL は 2010 の場合を示します。

### 4. Ver4.31 ツールの起動

#### 4.1 マクロの設定とセキュリティ :

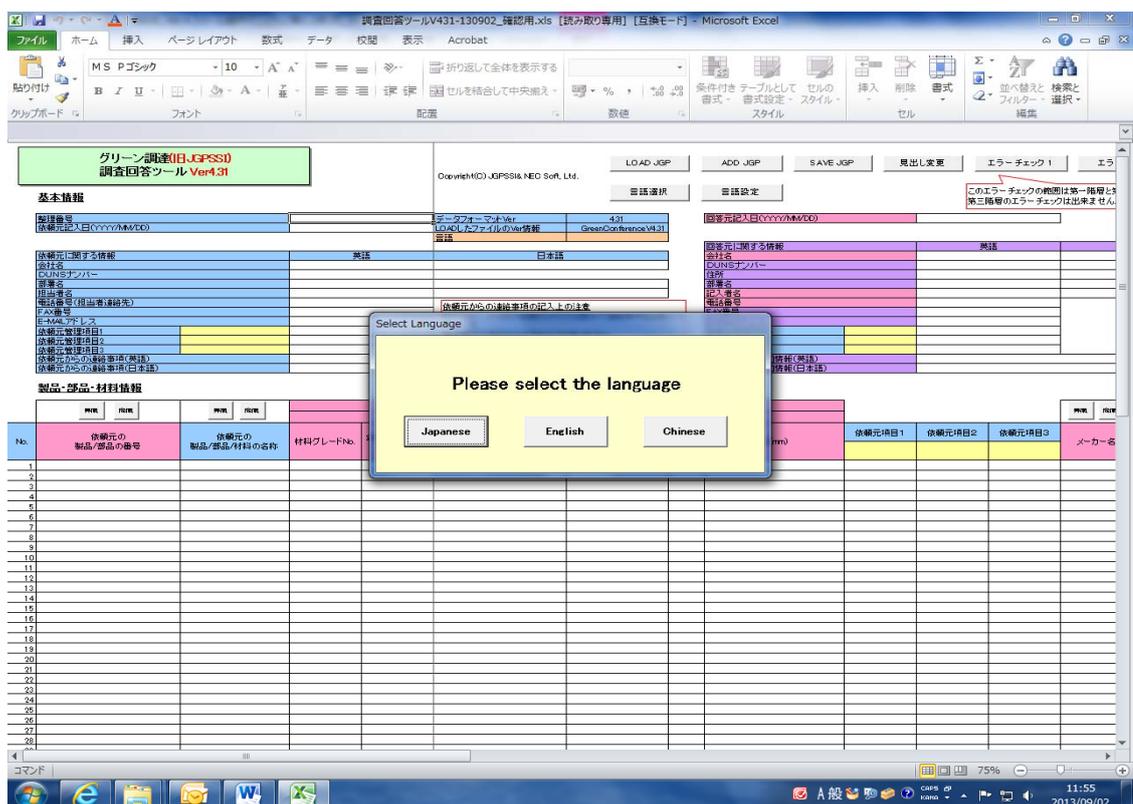
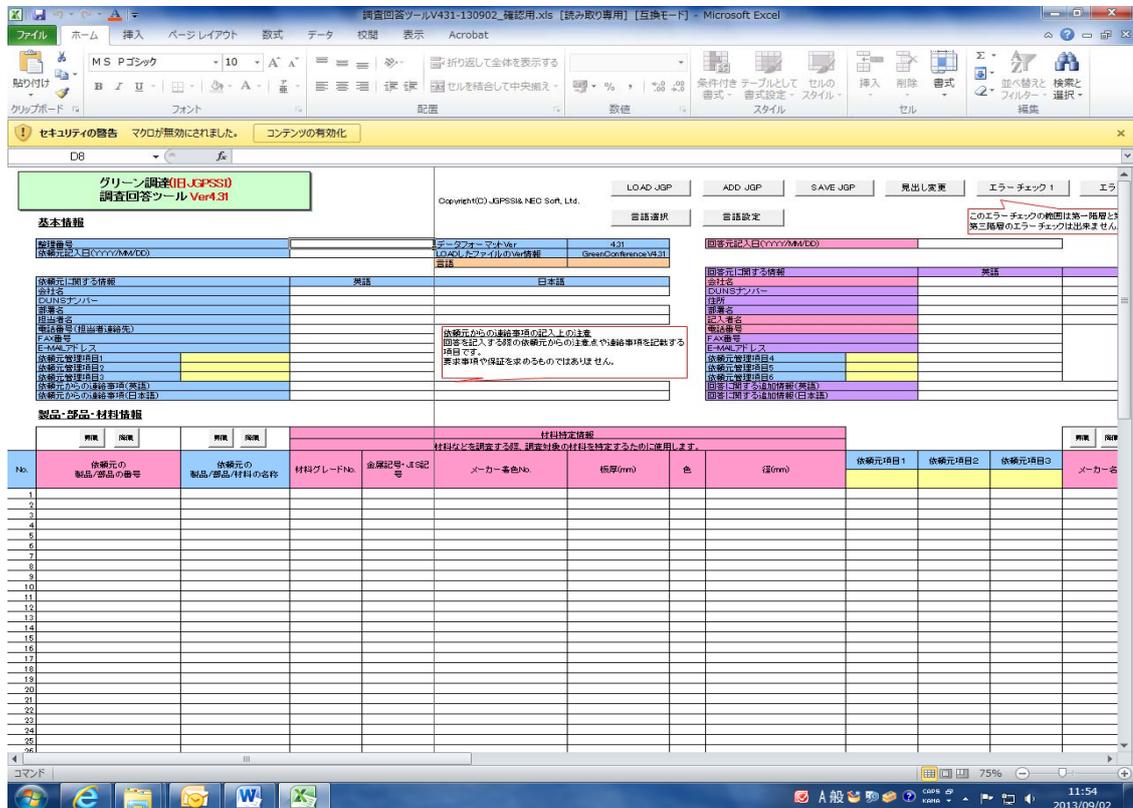
##### 4.1.1 ダウンロードした Ver4.31 ツールを初めて開く場合に必要な操作 (Excel 2010) :

- ダウンロードにより、パソコンに保存した Ver4.31 ツールを初めて開いた場合には、以下の様に、「保護されたビュー」が画面上部に表示されます (黄色の帯の部分)。
- この場合、この表示の右側にある「編集を有効にする(E)」を左クリックして下さい。



- 次に、以下の図の様に「セキュリティの警告」が表示されますが、この表示の右側にある「コンテンツの有効化」を左クリックするとファイルが機能する状態になり、ダウンロードしたツールが使える様になり、後述の 4.2 項に示す言語の選択画面が表示されます。

注)：上記の操作を行った後に、このツールを再度開いた場合には、「保護されたビュー」および「セキュリティの警告」は表示されません。又、電子メールの添付ファイルで送られたツールを初めて開く場合にも、同様の操作が必要です。

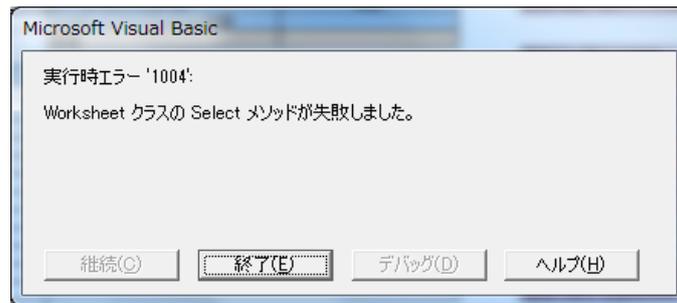


#### 4.1.2 マクロの設定変更が必要な場合の操作（Excel 2010）：

- ダウンロードにより、パソコンに保存した Ver4.31 ツールを初めて開いた場合には、「保護されたビュー」が画面上部に表示されますが、この表示の右側にある「編集を有効にする(E)」を左クリックすると、以下の図の様なメッセージが表示されパソコンがフリーズする場合があります。この場合にはエクセルを強制終了し、パソコンはログオフする必要があります。

この原因はお使いのパソコンのエクセルのマクロ設定が「すべてのマクロを有効にする」に設定されているためです。

通常、パソコン購入時のデフォルト（初期設定）のマクロ設定は「警告を出してすべてのマクロを無効にする(D)」になっており、以下の様なメッセージは表示されません。

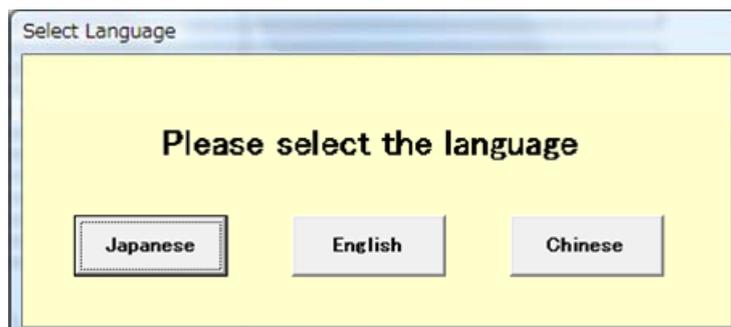


- 上記の表示が出た場合、以下の手順でお使いのパソコンのエクセルのマクロ設定の変更が必要です。
  - ① エクセルを開き、画面の左上の「ファイル」をクリックして下さい。
  - ② 画面左側の下部にある「オプション」をクリックして下さい。
  - ③ 画面左側の最下部にある「セキュリティセンター」をクリックして下さい。
  - ④ 同じ画面に右側にある「セキュリティセンターの設定(I)」をクリックして下さい。
  - ⑤ 画面左側の中段にある「マクロの設定」をクリックし、マクロの設定の内、「警告を出してすべてのマクロを無効にする(D)」を選択し「OK」ボタンをクリックして下さい。この後にエクセルを一旦閉じてから再度開き、ツールを開いて下さい。

#### 4.2 言語選択：

- ツールを開くと以下の様に言語選択画面（Select Language）が表示されます。三つの言語の内、どれか一つの言語ボタンをクリックし、使用する言語のツールを選択します。日本語版ツールを使用する場合には、「Japanese」のボタンをクリックします。言語選択が完了すると以下の画面表示が消えます。言語選択画面のキャンセルは出来ません。

注 1)：使用するパソコンによっても異なりますが、言語のボタンをクリックしてから選択した言語の画面に切り換わるまでには、数十秒かかる場合があります。



注 2) : 「言語設定」については、9. その他の各種ボタンの機能を参照して下さい。  
 常に同じ言語でツールを使用する場合には、「言語設定」が便利です。  
 設定方法などの詳細は本マニュアルの 9.1 章を参照下さい。

注 3) : 本マニュアルでは日本語版ツール使用時の説明を前提とします。

- 次の画面が表示されます。

注 1) : この画面は、「第一階層」と呼びます。調査の依頼元の情報や回答元の情報および調査対象アイテムの情報などを入力する画面です。

注 2) : 各項目のセルは色付けされていますが、原則的には以下の様な意味があります。

- 青 : 依頼元が入力する項目です。
- 紫 : 回答元が入力する項目です。
- ピンク : 入力が必要な項目です。(条件付きの場合あり)

The screenshot displays the 'Green Survey Tool' interface. At the top, there are menu options like 'LOAD JSP', 'ADD JSP', 'SAVE JSP', and '実行/変更'. Below this is a '調査設定' (Survey Settings) section with a table for '調査項目' (Survey Items) and '調査項目名' (Survey Item Name). The main part of the screen is a large table with columns for '依頼元' (Requester), '回答元' (Respondent), and '調査項目' (Survey Items). The cells in this table are color-coded: blue for requester input, purple for respondent input, and pink for required input. There are two red callout boxes on the right side of the table. The first callout box explains that the color coding is based on the '調査項目' (Survey Item) and that the '調査項目名' (Survey Item Name) is used to identify the item. The second callout box explains that the '調査項目' (Survey Item) is used to identify the item and that the '調査項目名' (Survey Item Name) is used to identify the item.

## 5. 調査依頼元による調査依頼データ（JGP ファイル）の作成：

### 5.1 基本情報の入力：

- 依頼元は、Ver4.3 調査回答マニュアルの 6 ページ、5.調査項目の章を参照しツール画面の左上に表示される依頼元記入日、依頼元に関する情報などを入力して下さい。  
以下は【入力例】です。

グリーン調達(旧JGPSSI) 調査回答ツール Ver4.31		LOAD JGP	
		Copyright(C) JGPSSI& NEC Soft, Ltd.	
基本情報		言語選択	
整理番号	ABC001	データフォーマットVer	4.31
依頼元記入日(YYYY/MM/DD)	2009/08/31	LOADしたファイルのVer情報	GreenConferenceV4.00
		言語	
依頼元に関する情報		英語	日本語
会社名	***INC.	* * * 株式会社	
DUNSナンバー	*****9		
部署名	***Dept.	* * * 課	
担当者名	Taro Suzuki	鈴木太郎	
電話番号(担当者連絡先)	03-5***-8**2	依頼元からの連絡事項の記入上の注意 回答を記入する際の依頼元からの注意点や連絡事項を記載する項目です。 要求事項や保証を求めるものではありません。	
FAX番号	03-5***-8**3		
E-MAILアドレス	s.tato@***.cg.jp		
依頼元管理項目1			
依頼元管理項目2			
依頼元管理項目3			
依頼元からの連絡事項(英語)			
依頼元からの連絡事項(日本語)			

注 1)：英語の欄に入力する場合には必ず半角英数文字でデータを入力して下さい。

注 2)：「依頼元からの連絡事項の記入上の注意」の吹き出しの裏側には入力用のセルはありません。電話番号、FAX 番号、E-MAIL アドレスおよび依頼元管理項目 1~3 の日本語入力欄は設定されていません。

### 5.2 調査対象アイテムに関する情報の入力：

- Ver4.3 調査回答マニュアルの 5. 調査項目の (3) を参照して、画面の基本情報の下にある調査対象アイテムに関する情報を必要に応じ入力して下さい。ピンク色のセルは入力必須ですが、依頼元の製品/部品の番号は調査対象アイテムが材料の場合に使用する 6 項目（材料特定情報）の全てに入力が無い場合のみ入力必須です。（下図参照）

注)：<JGP ファイルの出力条件>

調査対象アイテムを特定する下記の 7 項目のピンク色のセルのいずれにも入力がない場合には、該当する行のデータが JGP ファイルに保存されませんのでご注意ください。  
ただし、下記の 7 項目の全てに入力が無い場合でも、「メーカー名」、「回答元の製品/部品/材料の番号」のどちらかに入力があれば該当する行のデータが JGP ファイルに保存されます。

#### 【入力例】調査対象アイテムが部品の場合（コンデンサ）

##### 製品・部品・材料情報

No.	依頼元の製品/部品の番号	依頼元の製品/部品/材料の名称	材料特定情報				依頼元項目1	依頼元項目2	依頼元項目3	
			材料グレードNo.	金属記号・JIS記号	メーカー着色No.	板厚(mm)	色	径(mm)	仕様書No.	
1	ABC-123	コンデンサA						ABC-1		
2	ABC-124	コンデンサB						ABC-2		
3	ABC-125	コンデンサC						ABC-3		
4										
5										

## 【入力例】調査対象アイテムが材料の場合（プラスチック材料）

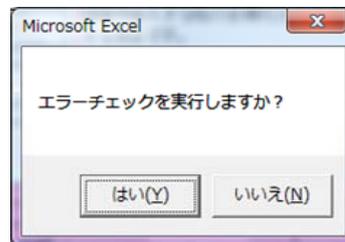
### 製品・部品・材料情報

昇順		降順		材料特定情報					依頼元項目1	依頼元項目2	依頼元項目3
No.	依頼元の 製品/部品の番号	依頼元の 製品/部品/材料の名称	材料グレードNo.	金属記号・JIS記 号	メーカー着色No.	板厚(mm)	色	径(mm)	仕様書No.		
	1		ABS	A100-XXX		12345		白			
2											
3											
4											
5											

### 5.3 JGP ファイルの保存（SAVE JGP）：

- 画面の上部にある〔**SAVE JGP**〕ボタンをクリックして下さい。  
【エラーチェックを実行しますか？】→〔**いいえ**〕を選んで下さい。

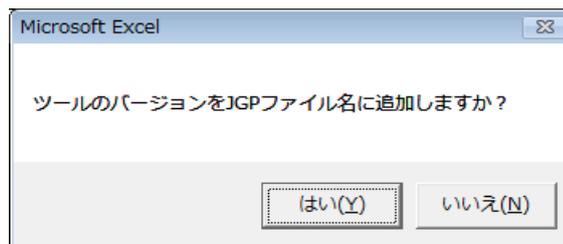
注)：〔**はい**〕でエラーチェックを実行すると、回答元の情報（入力必須項目）が未入力であるため、エラーが表示されます。調査依頼用の JGP ファイルを作成する際の SAVE JGP の場合には、エラーチェックは実行しないで下さい。  
ただし、上記 5.2 の注)：<JGP ファイルの出力条件>を確認して下さい。



- 次に以下のメッセージが表示されます。

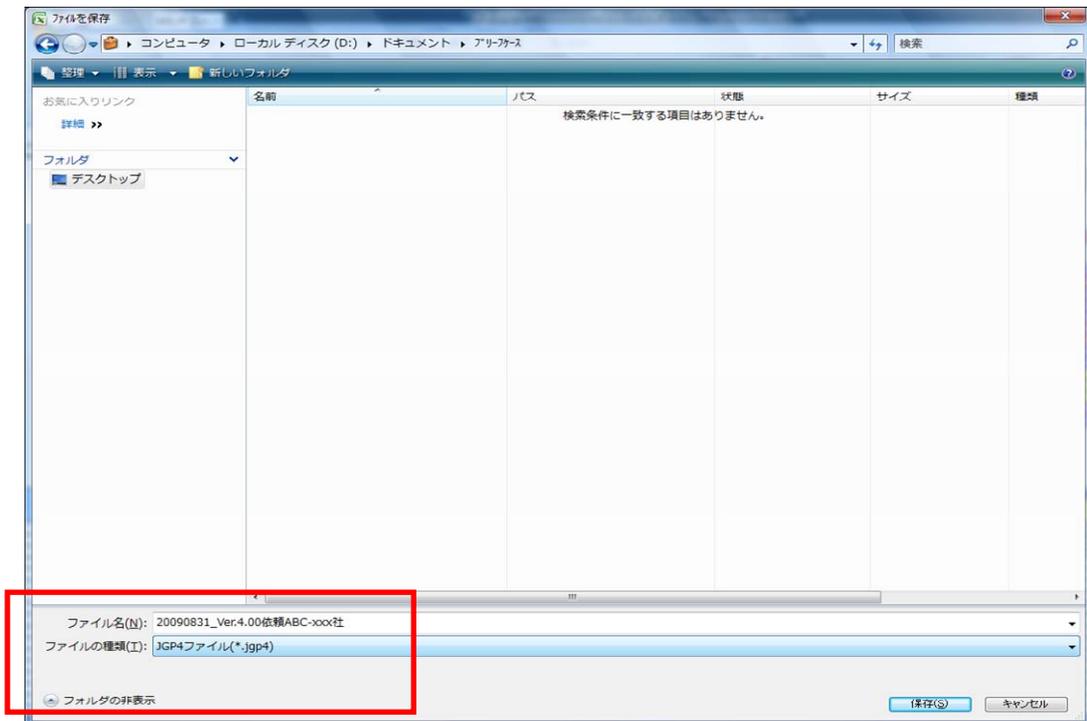
これは Ver4.31 ツールで作成された JGP ファイルであることを容易に識別できる様に、JGP ファイルのファイル名の先頭に「V4.31\_」を自動的に追加する機能です。

〔**はい**〕を押すと、この機能が有効になります。

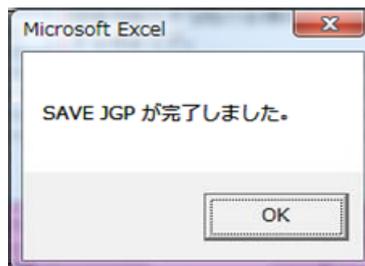


- 次の画面（例）が出ますので、保存先フォルダを指定しファイル名を付けて保存して下さい。保存される JGP ファイルには jpg4 の拡張子が自動的に付きます。（下図の赤枠内参照）

注)：JGP ファイル名に中国語文字が入力されている場合、日本語環境パソコンでは保存、読み込みが出来ません。

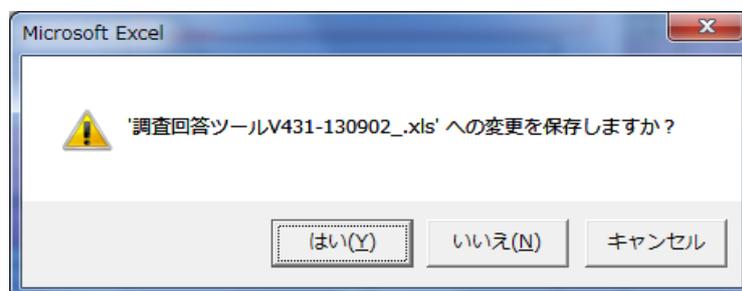


- 以下の表示が出たら〔OK〕をクリックして下さい。これで JGP ファイルの保存が完了です。



#### 5.4 調査回答ツールの終了 :

- エクセル画面の右上の X ボタンなどをクリックし、ツールを閉じて下さい。  
以下の画面が表示されます。〔はい〕を選ぶと、入力データがツールに上書き保存されます。



#### 5.5 JGP ファイルを調査回答元へ送る (調査依頼) :

- 調査依頼元は基本情報や調査対象アイテムの情報を入力した JGP ファイルを回答元へ送って下さい。

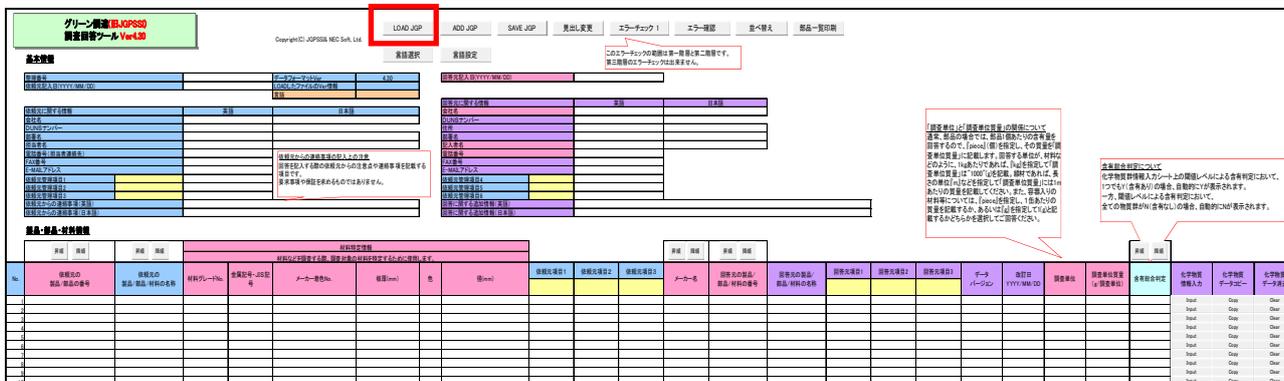
注) : 原則として依頼元と回答元のデータ交換は JGP ファイルを使用して下さい。

## 6. 回答元による回答データ（JGP ファイル）の作成

### 6.1 調査依頼元からのデータの読み込み（LOAD JGP）：

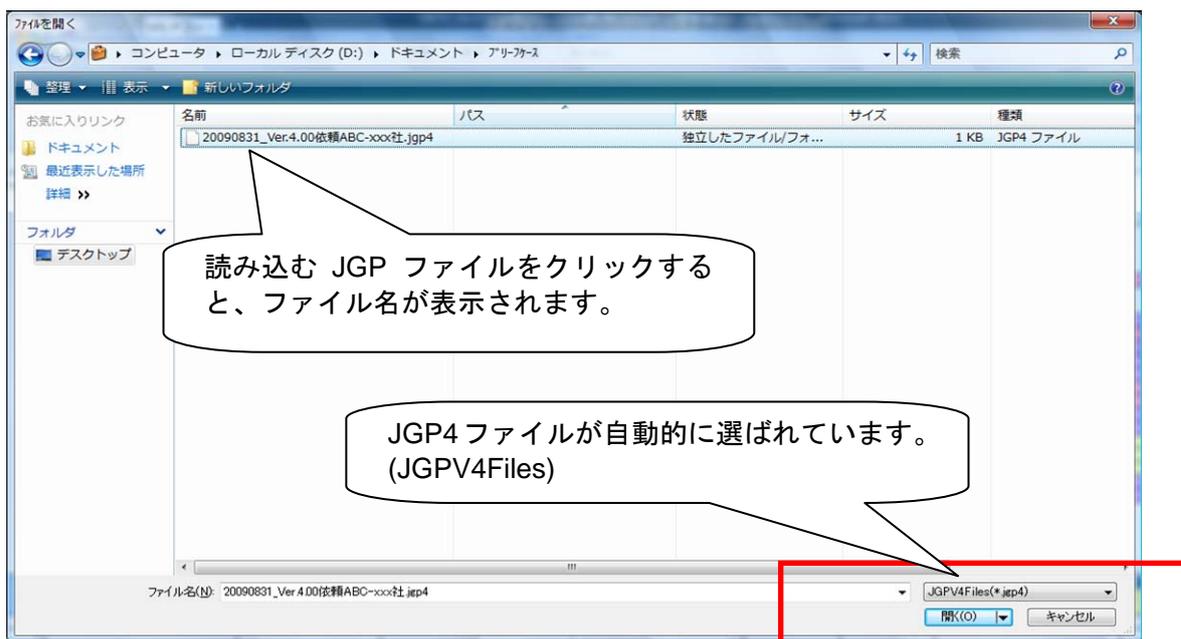
- ① 調査依頼データが入力されている JGP ファイルをご自分のパソコンに保存して下さい。
- ② Ver4.31 ツールを起動して下さい。（ 4 . Ver4.31 ツールの起動、を参照 ）

以下の画面（第一階層）が表示されます。



- ③ この画面の上部にある [LOAD JGP] ボタンをクリックして下さい。

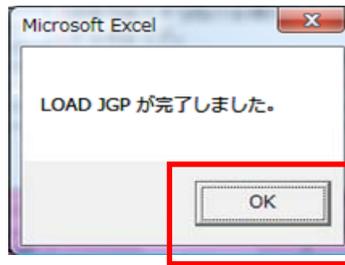
下記の「ファイルを開く」の画面（例）が出ます。



注) : Ver3 の JGP ファイルを読み込む場合にはファイルの種類を（JGPV3Files）に変更して下さい。詳細は、「7. 旧フォーマットデータの読み込み」を参照下さい。

- 読み込む JGP ファイルを指定（クリック）し [開く] をクリックして下さい。調査依頼データが調査回答ツールに読み込まれ、以下の表示が出ますので [OK] をクリックして下さい。

注) : JGP ファイル名に中国語文字が入力されている場合、日本語環境パソコンでは保存、読み込みが出来ません。



- 下図の例の様に依頼元に関する情報、調査依頼対象アイテムの情報が読み込まれます。

**グリーン調達(旧JGPSSI) 調査回答ツール Ver4.31**

Copyright(C) JGPSSI& NEC Soft, Ltd.

LOAD JGP    ADD JGP    SAVE JGP    見出し

言語選択    言語設定

**基本情報**

整理番号	ABC001	データフォーマットVer	4.31	回答元記入日(YYYY/MM/DD)	
依頼元記入日(YYYY/MM/DD)	2009/08/31	LOADしたファイルのVer情報	GreenConferenceV4.00		

言語

依頼元に関する情報		英語	日本語
会社名	***INC.	* * * 株式会社	
DUNSナンバー	*****9		
部署名	***Dept.	* * * 課	
担当者名	Taro Suzuki	鈴木太郎	
電話番号(担当者連絡先)	03-5***-8**2	依頼元からの連絡事項の記入上の注意	
FAX番号	03-5***-8**3	回答を記入する際の依頼元からの注意点や連絡事項を記載する項目です。	
E-MAILアドレス	s.tato@***.co.jp	要求事項や保証を求めるものではありません。	
依頼元管理項目1			
依頼元管理項目2			
依頼元管理項目3			
依頼元からの連絡事項(英語)			
依頼元からの連絡事項(日本語)			

**製品・部品・材料情報**

No.	依頼元の製品/部品の番号	依頼元の製品/部品/材料の名称	材料特定情報					依頼元項目1
			材料グレードNo.	金属記号・JIS記号	メーカー着色No.	板厚(mm)	色	
1	ABC-123-001	大型スイッチユニット						
2								
3								
4								
5								

注) : 第一階層画面の「言語」のセルの上にある、「LOADしたファイルのVer情報」には、読み込んだJGPファイルを作成した、Ver4またはVer3調査回答ツールのバージョンおよびツール名称およびが表示されます。  
 (表示例 : GreenConferenceV4.20、GreenConferenceV4.11、GreenConferenceV3.34)

## 6.2 回答元が入力する項目 (基本情報、調査対象アイテム情報など) :

- ① 回答元に関する情報の入力 (ピンク色のセルは入力必須項目です。)

会社名など回答元に関する情報を入力して下さい。

(詳細は Ver4.3 調査回答マニュアルの7ページ、5.(2) 回答元に関する情報を参照下さい)

### 【入力例】

ADD JGP    SAVE JGP    見出し変更    エラーチェック1    エラー確認    並べ替え    部品一覧印刷

言語設定

このエラーチェックの範囲は第一階層と第二階層です。第三階層のエラーチェックは出来ません。

回答元記入日(YYYY/MM/DD)

回答元に関する情報		英語	日本語
会社名			XXX商事
DUNSナンバー			
住所			東京都港区〇〇〇
部署名			###課
記入者名			山田次郎
電話番号		03-1***-9**3	
FAX番号		03-1***-9**4	
E-MAILアドレス		y*jiro@***.co.jp	
依頼元管理項目4			
依頼元管理項目5			
依頼元管理項目6			
回答に関する追加情報(英語)			
回答に関する追加情報(日本語)			

注) : 英語の欄に入力する場合には必ず半角でデータを入力して下さい。  
 依頼元管理項目は原則依頼元が入力する項目です。入力データがある場合は変更しないで下さい。

- ② 回答元のメーカー名、番号、名称を入力して下さい。  
 (回答元項目 1,2,3 は回答元のメモとして使用できます。)

【入力例】

メーカー名	回答元の製品/ 部品/材料の番号	回答元の製品/ 部品/材料の名称	回答元項目1	回答元項目2	回答元項目3
〇〇電気	abc-123	スイッチユニット			

- ③ データバージョン、改訂日を入力して下さい。データバージョンに該当する情報がない場合、これらは未入力で結構です。
- ④ 調査単位を選択し、単位あたりの総質量を入力して下さい。
- ・プルダウンメニューから調査単位を選択して下さい。
  - ・設定された調査単位あたりの総質量を g で入力して下さい。

例) : 調査単位が Piece(個)の場合 → 調査対象アイテム 1 個あたりの質量  
 調査単位が kg の場合 → 1kg あたりの質量 = 1000g

【入力例】

データバージョン	改訂日 YYYY/MM/DD	調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	含有総合判定
		piece	2500.000	

注 1) : 「含有総合判定」は自動表示されます。手入力する項目ではありません。  
 ツール上に表示されている吹き出しを参照下さい。

注 2) : 調査単位と調査単位質量に関してはツール上に表示されている以下の吹き出しを参照して下さい。

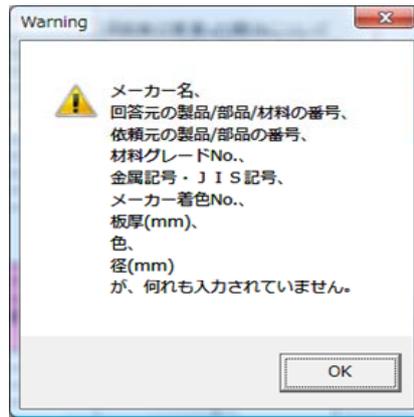
「調査単位」と「調査単位質量」の関係について  
 通常、部品の場合では、部品1個あたりの含有量を回答するので、『piece』(個)を指定し、その質量を「調査単位質量」に記載します。回答する単位が、材料などのように、1kgあたりであれば、『kg』を指定して「調査単位質量」は“1000”(g)を記載。線材であれば、長さの単位『m』などを指定して「調査単位質量」には1mあたりの質量を記載してください。また、容器入りの材料等については、『piece』を指定し、1缶あたりの質量を記載するか、あるいは『g』を指定して1(g)と記載するかどちらかを選択してご回答ください。

### 6.3 含有化学物質群の情報の入力 画面（第二階層）への遷移（移行）：

- 基本情報画面にて、入力したい調査対象アイテムの行の〔Input〕ボタンをクリックし、化学物質群情報の入力画面に移って下さい。（下図参照）

調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	含有総合判定	化学物質情報入力	化学物質データコピー	化学物質データ消去
piece	2500.000		Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear

注) : 〔Input〕 をクリックすると以下の図の様にワーニング表示が出る場合があります。  
 (調査対象アイテムを特定する情報が何も入力されていない場合です。)  
 〔OK〕 をクリックすると含有化学物質群情報の入力画面（第二階層）に移ります。



### 6.4 含有化学物質群情報の入力（第二階層）：

下図の様に画面上部には前画面の基本情報や調査アイテムの情報が自動的に表示されます。

注 1) : この画面は第二階層と呼びます。含有化学物質の群レベルの回答を入力する画面です。  
 各項目の回答方法は、Ver4.3 調査回答マニュアルの 10~13 ページ、(4) 含有化学物質群の情報、を参照して下さい。

基本情報/製品・部品・材質情報		データフォーマットVer	DMCのファイルのVer	調査元記入日	OK	CANCEL	エラーチェック 2	エラー確認	印刷		
調査番号	430	GreenConferenceV4.00									
依頼元の製品/部品/材料の名称	依頼元の製品/部品/材料の名称	材料グレードNo.	メーカー着色No.	板厚(mm)	色	径(mm)	依頼元項目 1	依頼元項目 2	依頼元項目 3		
ASD-123-001	本型スイッチユニット										
メーカー名	調査元の製品/部品/材料の番号	調査元の製品/部品/材料の名称	調査元項目 1	調査元項目 2	調査元項目 3	データバージョン	発行日 YYY/M/DD	調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)		
〇〇電気	456-123	スイッチユニット						piece	2500.000		
含有化学物質群情報		一括N	全データクリア								
物質群	物質名	調査レベルによる含有判定	含有質量 (mg)	使用用途が指定	使用用途分類 (該当用途の存在にチェックしてください)	固有成分名	(*) 該当用途	使用用途: 目的	使用用途: 材料	最大物質材料含有率	含有化学物質に該当する表記事項
A	特定のREACH規制対象物質 (4000) Ver 4.3調査回答マニュアル20~21ページの別表を参照	A01		J01-J00	対象となる個々の物質単位で、調査単位あたりの質量が1%以下を認める必要がある場合		<input type="checkbox"/>	この行の調査用途分類を適用した場合は、こちらをクリックして、特定物質入力方式で詳細情報を入力して下さい。			
			J01-J06	対象となる個々の物質単位で、調査単位あたりの質量が1%以下の含有がある場合		<input type="checkbox"/>	この行の調査用途分類を適用した場合は、こちらをクリックして、特定物質入力方式で詳細情報を入力して下さい。				
B	本調査回答ツールで対象とするA01の対象物質 (2000)は、従前調査段階の欄の右側にあるボタンをクリックし、第三階層画面で確認して下さい。 がニッケル/カドミウム化合物 鉛/鉛化合物 有機材料中のカドミウム0.01質量% (100ppm) 未満。 電流の場合は、電流中のカドミウム0.01質量% (100ppm)	A05		Ce-0-3	物質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムを含むワタケ酸がラテックス、ソーダ灰がラテックスへ適用するエポキシ樹脂印刷インキ		<input type="checkbox"/>				
			Ce-0-4	物質材料単位あたり100ppmを超える、電圧レベル100V以上の高電圧用変換のボイスコイルに選ばれる導電性の電磁的、機械的仕込み適合部分の含有物がニッケル		<input type="checkbox"/>					
			Ce-0-6	物質材料単位あたり100ppmを超える、酸化セリウムと結合したアルミニウム上に使用される導電ペースト中のカドミウムおよび酸化カドミウム含有物		<input type="checkbox"/>					
			Ce-0-8	物質材料単位あたり100ppmを超える、電線導管中のカドミウム		<input type="checkbox"/>					
			Ce-0-9	物質材料単位あたり100ppmを超える、フィルターガラスおよび反射基準 (reflectance standard) に使用されるガラス中のカドミウム		<input type="checkbox"/>					
			Ce-0-10	物質材料単位あたり100ppmを超える、露体照明灯は表示システムで使用するための色変換-V1 LED中のカドミウム/無機蛍光体		<input type="checkbox"/>					
			Ce-0-11	物質材料単位あたり100ppmを超える、印刷用インクに使用されるアクリル樹脂のフタル酸エステル中のカドミウム		<input type="checkbox"/>					
			Ce-0-2	物質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムを含む電気自動車用のバッテリー		<input type="checkbox"/>					
			Ce-0-3	電圧質量あたり100ppmを超えるカドミウムを含む電圧		<input type="checkbox"/>					
			Ce-0-0	特定用途を除く物質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムの含有がある場合(右側に詳細記入)		<input type="checkbox"/>					
Ce-0-99	不純物/リサイクル材料/コンタミネーションとして、物質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムの含有		<input type="checkbox"/>								
Ce-0-99	特定用途を除く物質材料単位あたり100ppm以下のカドミウムの含有がある場合(右側に詳細記入)		<input type="checkbox"/>								
Ce-RE-00	不純物/リサイクル材料/コンタミネーションとして、物質材料単位あたり100ppm以下のカドミウムの含有		<input type="checkbox"/>								

注 2) : Ver4.31 ツールでは REACH 対応の SVHC の物質群として「J01」を仮想的に設定しています。各 SVHC についての詳細情報は、J01 の右側にある各ボタンをクリックし、全て第三階層に遷移（移行）して入力して下さい。  
詳細は本マニュアルの 6.5 含有化学物質情報の入力（第三階層）、を参照下さい。

注 3) : 「J01」は各 SVHC の詳細情報の入力を全て第三階層でまとめて行える様にする為に便宜的に、2010 年発行の Ver4.10 ツール以降で設定した仮想の物質群です。調査対象の各 SVHC は、Ver4.3 調査回答マニュアルの 20 ページ、別表 A-2 を参照するか又は、第三階層で確認して下さい。J01 の物質群の名称および吹き出しの内容も確認して下さい。J01 の物質群の総含有量(mg)のセルは保護しているため入力出来ません。

注 4) : 「J01」の SVHC は第二階層の物質群の例示物質にも該当する場合があります。この場合、該当する SVHC は、物質群レベルの調査回答の対象でもありますのでご注意ください。

例 1 : クロム酸鉛 (CAS No. 7758-97-6) は、別表 A-1 の物質群分類 No. A07 : 六価クロム化合物および、A09 : 鉛/鉛化合物の調査回答の対象でもあり、閾値レベルの算出分母は均質材料です。

例 2 : SVHC としての各フタル酸エステル類 (BBP, DBP, DEHP) は、C09 : フタル酸エステル類グループ 1 (BBP, DBP, DEHP) の回答対象でもあります。

上記の例の回答方法の詳細は、Ver4.3 調査回答マニュアルの別紙 3 の回答事例 3 および回答事例 4 を参照下さい。

注 5) : 第二階層の A17: トリブチルスズ=オキシド (TBTO) は、A28:三置換有機スズ化合物の対象でもあります。この場合のみ TBTO の総含有量は金属換算が必要です。また、TBTO は第三階層の SVHC でもありますので、この物質の含有がある場合には各階層に必要な含有情報の入力をお願いします。

#### ① 閾値レベルによる含有判定 Y/N の入力 :

- 各物質群の「閾値レベルによる含有判定」の欄をクリックするとプルダウンメニューが現れます。必ず Y または N を選択して下さい。(J01 も含め、各物質群の全てに入力必須です。) Y 及び N は大文字もしくは小文字での直接入力も出来ます。
- 含有判定 Y/N の判定の方法については、Ver4.3 調査回答マニュアルの 10 ページ、(4) 含有化学物質群の情報の、① 閾値レベルによる含有判定 (Y/N)、を参照して下さい。
- J01 の含有判定 (Y/N) は、Ver4.1 ツール以降で設定した仮想の物質群であるため、Ver4.3 調査回答マニュアルではその判定方法については示していません。以下の基準で Y または N を判定して下さい。

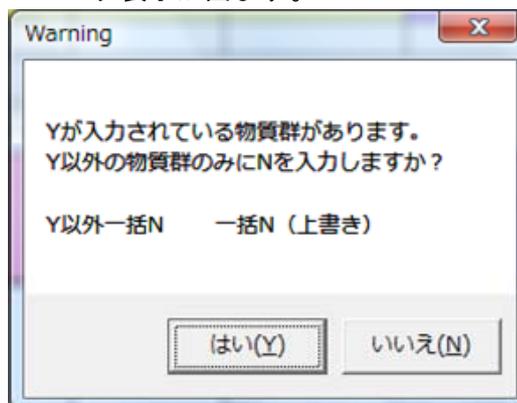
Y : Ver4.3 調査回答マニュアルの別表 A-2 の各 SVHC について、一つでも含有判定が Y の SVHC がある場合には、J01 の含有判定を Y として下さい。

N : 同上の全ての SVHC の含有判定が N の場合に、J01 の含有判定を N として下さい。

〔一括N〕 ボタンの機能について:

含有化学物質群情報		一括N	全データクリア	
クラステリア	調査対象物質群		閾値レベルによる 含有判定 (Y/N)	総含有量 (mg)
	物質群 分類 No.	物質群		

- J01 を含む各物質群の全ての含有判定が空欄の場合に一括 N ボタンをクリックすると、J01 を含む各物質群すべての含有判定に N が自動入力されます。
- J01 を含む各物質群のどれか 1 つに既に Y が入力されている場合に一括 N ボタンをクリックすると、以下のワーニング表示が出ます。

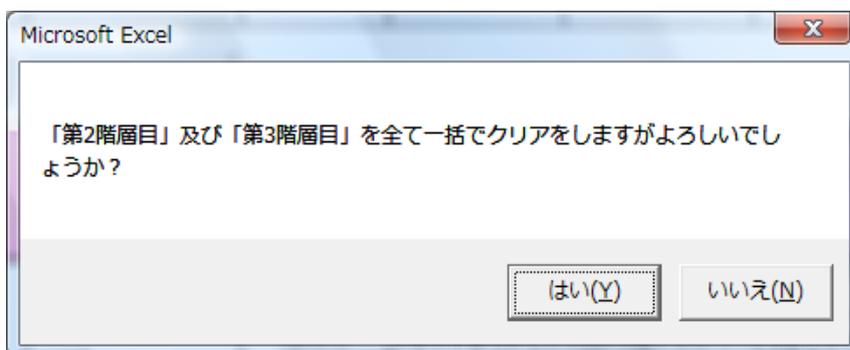


〔はい〕 をクリックすると、既に Y が入力されている物質群以外の物質群の含有判定に N が自動入力されます。「 Y 以外一括 N 」はこれを意味しています。

〔いいえ〕 をクリックすると、既に Y が入力されている物質群も含めて全ての物質群の含有判定に N が入力されます。「一括 N (上書き)」はこれを意味しています。

〔全データクリア〕 ボタンの機能について:

- このボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。  
〔はい〕 をクリックすると、既に入力されている第二階層と第三階層の全てのデータが削除されます。〔はい〕 をクリックするかどうか、良く確認してから判断して下さい。



② 総含有量(mg)の入力 :

注) : J01 の物質群の総含有量(mg)のセルは保護しているため入力出来ません。各 SVHC の含有量(mg)は第三階層で入力して下さい。

- 前の画面（第一階層）の「調査単位」で設定された単位あたりに含有している化学物質の総含有量(mg)を有効数字 2 桁（3 桁目は四捨五入）で入力して下さい。総含有量については小数点第 3 位までしか表示されませんが、正しい総含有量を入力して下さい。  
（含有判定が Y の場合は全ての物質群で入力必須です。）

		〔表示〕
例) :	2549mg の場合 : 2500mg	2500.000
	1.1456mg の場合 : 1.1mg	1.100
	0.00214mg の場合 : 0.0021mg	0.002
	0.1mg の場合 : 0.1mg	0.100

- 入力する値は把握している含有量の最大値を原則とします。

注) : 各物質群が金属及びその化合物かどうかによって、総含有量の算出方法が異なります。詳しくは Ver4.3 調査回答マニュアルの 11 ページ、②を参照して下さい。

【入力例】

調査対象物質群		閾値レベルによる 含有判定 (Y/N)	総含有量 (mg)
物質群 分類 No.	物質群		
A05	カドミウム/カドミウム化合物	Y	490.000

③ 使用用途分類の選択（チェックマークまたはラジオボタンで選択）:

注 1) : 各使用用途分類は、含有判定 Y か又は N によって該当する項目が割り当てられています。含有判定 (Y/N) に整合した使用用途分類を選択して下さい。  
（詳細は本操作マニュアルの別表 4 を参照）

注 2) : 該当する物質群の含有判定を N とした場合、含有判定 Y に該当する使用用途分類を選択すると、エラーチェックで整合性のエラーとなり、例として以下の様なメッセージが出ます。整合性のエラーチェックの詳細は、別紙 4 を参照下さい。

エラーメッセージの例 :

[ Error No.1100 ](A07)含有判定(Y/N)と、選択されている使用用途分類の整合性が取れていません。

- 含有判定がYの物質群では選択必須です。最低限1項目の該当する使用用途分類を選択して下さい。各項目の右の該当用途欄の“□”の右をクリックするとチェックマークが表示されます。(下図の入力例参照)

注1) : J01の含有判定にYを入力した場合には、J01-J-0を選択して下さい。  
Nを入力した場合でも、第三階層で詳細情報を入力する場合には、J01-J-98を選択して下さい。含有判定がNで詳細情報を入力しない場合にはJ01-J-98を選択する必要はありません。

注2) : 以下の4物質群の使用用途分類の選択はラジオボタンで行います。  
(ラジオボタンには、一つの使用用途分類のみを選択する機能があります。)  
・A19: 酸化ベリリウム  
・B12: 過塩素酸塩

以下は、A19: 酸化ベリリウムの使用用途分類を選択するラジオボタンの例です。  
使用用途分類の右側(\*: 該当用途)の欄の丸印にカーソルを当ててクリックすると、ラジオボタンが黒丸に変わり、使用用途分類を選択出来ます。尚、選択した黒丸をクリックする場合には、カーソルを黒丸の左右どちらかに当ててクリックして下さい。

A19-J-0	調査単位あたりの重量比が0.1%を超える含有がある場合	<input type="checkbox"/>
A19-J-98	調査単位あたりの重量比が0.1%以下の含有がある場合	<input checked="" type="checkbox"/>

- 調査対象アイテムの含有で該当する全ての使用用途分類を選択し、チェックマークを表示させて下さい。複数の部位に含有している場合、該当する全ての使用用途分類を選択して下さい。画面に表示される使用用途分類コードと内容は、Ver4.3 調査回答マニュアルの別紙4、別紙5の使用用途分類リストと同じです。
- 含有判定がNの場合に各物質群の含有情報を回答する場合には、該当する(閾値レベルを超えない)使用用途分類コードを選択して下さい。末尾が98の使用用途分類コードはこの場合の一例です。詳しくはVer4.3 調査回答マニュアルの12ページ、③、および本操作マニュアルの別表4を参照下さい。

【入力例】 Cd-J-0とCd-J-99にチェックマークが付いています。

使用用途分類 (該当項目の右セルにチェックしてください)		(*: 該当用途)
使用用途分類コード	使用用途分類	
J01-J-0	対象となる個々の物質単位で、調査単位あたりの重量比が0.1%を超える含有がある場合	<input type="checkbox"/>
J01-J-98	対象となる個々の物質単位で、調査単位あたりの重量比が0.1%以下の含有がある場合	<input type="checkbox"/>
Cd-R-3	均質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムを含むホウケイ酸ガラス、ソーダ石灰ガラス等へ使用するエナメル塗布用印刷インキ	<input type="checkbox"/>
Cd-R-4	均質材料単位あたり100ppmを超える、音圧レベル100dB(A)以上の高耐久カスビーカの変換器のボイスコイルに直付けされる導電体の電気的/機械的なんだ接合部分の合金中のカドミウム	<input type="checkbox"/>
Cd-R-6	均質材料単位あたり100ppmを超える、酸化ベリリウムと結合したアルミニウム上に使用される厚膜ペースト中のカドミウムおよび酸化カドミウム中のカドミウム	<input type="checkbox"/>
Cd-R-8	均質材料単位あたり100ppmを超える、電気接点中のカドミウム	<input type="checkbox"/>
Cd-R-9	均質材料単位あたり100ppmを超える、フィルターガラスおよび反射基準(reflectance standards)に使用されるガラス中のカドミウム	<input type="checkbox"/>
Cd-R-10	均質材料単位あたり100ppmを超える、固体照明または表示システムで使用するための色変換II-VI LED中のカドミウム(光放出エリアミリ平方あたり<math>10 \mu\text{g Cd}</math>)	<input type="checkbox"/>
Cd-R-11	均質材料単位あたり100ppmを超える、プロ用音響機器に使用されるアナログ光カプラーのフォトレジスター中のカドミウム	<input type="checkbox"/>
Cd-E-2	均質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムを含む電気自動車のバッテリー	<input type="checkbox"/>
Cd-B-2	電池重量あたり10ppmを超えるカドミウムを含有する電池	<input type="checkbox"/>
Cd-J-0	特定用途を除く均質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムの意図的添加の含有がある場合(*右欄に詳細記入)	<input checked="" type="checkbox"/>
Cd-J-99	不純物/リサイクル材料/コンタミネーションとして、均質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムの含有	<input checked="" type="checkbox"/>
Cd-R-0	特定用途を除く均質材料単位あたり100ppm以下のカドミウムの意図的添加の含有がある場合(*右欄に詳細記入)	<input type="checkbox"/>
Cd-RE-98	不純物/リサイクル材料/コンタミネーションとして、均質材料単位あたり100ppm以下のカドミウムの含有	<input type="checkbox"/>

④ 使用用途・目的の入力：

- チェックマークを付けた使用用途分類の行のセルに、該当する内容を入力して下さい。  
入力出来る文字数は、全角で 60 文字まで、半角英数字は 120 文字までです。
- 入力内容の詳細は Ver4.3 調査回答マニュアルの 13 ページの④を参照下さい。
- 使用用途分類を選択している行の使用用途・目的の入力は必須です。

⑤ 使用部位の入力：

- チェックマークを付けた使用用途分類の行のセルに、該当する内容を入力して下さい。  
入力出来る文字数は、全角で 60 文字まで、半角英数字は 120 文字までです。
- 入力内容の詳細は Ver4.3 調査回答マニュアルの 13 ページの⑤を参照下さい。
- 使用用途分類を選択している行の使用部位の入力は必須です。

⑥ 最大均質材料含有率の入力：

- 含有化学物質の含有部位の均質材料 (homogeneous material) に対しての含有率(ppm)を入力して下さい。複数部位に同一の使用用途分類がある場合には最大値を入力して下さい。
- 使用用途分類を選択している行の最大均質材料含有率の入力は、物質群および使用用途分類によって、必須の場合と任意の場合があります。詳細は Ver4.3 調査回答マニュアルの 13 ページの⑥の(3)を参照下さい。
- Ver4.31 ツールには、特定の使用用途分類と最大均質材料含有率(ppm)の入力数値との整合性のチェック機能を追加しています。詳細は、本操作マニュアルの別表 4 を参照下さい。

注)：本整合性チェックでは対象の物質群により、エラーの基準とする最大均質材料含有率(ppm)の入力数値を 100ppm または 1000ppm に設定していますが、RoHS 指令または ELV 指令の適用除外に該当する使用用途分類 (以下の例など) によっては、100ppm または 1000ppm とは別の上限値または下限値が設定されています。しかし、これらの数値の整合性チェックは適用していませんので、入力の際には適切な数値であることをご確認下さい。

- 例：Pb-R-2：高融点はんだ中の鉛 (85wt%以上の鉛を含む鉛合金)、  
Pb-RE-3：鋼材 (バッチ式溶融亜鉛めっき、快削鋼を含む) 中の 0.35wt%以下の鉛、  
Pb-RE-4：銅合金 (真鍮、りん青銅等) 中の 4wt%以下の鉛

⑦ 追記事項の入力：

- 含有化学物質に関する追加の情報があれば、追記事項の欄に記載して下さい。
- 入力は任意です。
- 入力出来る文字数は全角で 60 文字まで、半角英数字は 120 文字までです。
- 例などは、Ver4.3 調査回答マニュアルの 13 ページの⑦を参照下さい。

【各項目の入力例】

使用用途・目的	使用部位	最大均質材料含有率 (ppm)	含有化学物質に関する追記事項
安定化/耐蝕表面処理	接点/フレーム表面めっき部	152	
黄銅中の不純物/安定剤不純物	スイッチ端子/樹脂フレーム	104	

黄銅についてはRoHS基準(100ppm)以下にコントロール/閾値以下へのコントロールを検討中

6.5 含有化学物質情報の入力（第三階層）：

- ① REACH 対応の SVHC に関する含有化学物質情報の入力は、以下に示す J01 の行にある各セルをクリックし、第三階層に移ってから行います。

< 物質群 J01：特定の REACH 規則認可対象候補物質（SVHC） >

フリール	調査対象物質群		閾値レベルによる含有判定 (Y/N)	総含有量 (mg)	使用用途分類 (該当項目の右セルにチェックしてください)	
	物質群分類 No.	物質群			使用用途分類コード	使用用途分類
R	J01	<b>特定のREACH規則認可対象候補物質 (SVHC) -</b> Ver.4.3調査回答マニュアル20ページの別表 A-2参照  閾値レベル(報告レベル): 調査単位の0.1重量% (1000ppm)			J01-J-0	対象となる個々の物質単位で、調査単位あたりの重量比が0.1%を超える含有がある場合
					J01-J-98	対象となる個々の物質単位で、調査単位あたりの重量比が0.1%以下の含有がある場合

以下の茶色またはグレーのセルをクリックすると第三階層画面に移ります。

(*: 該当用途)	使用用途・目的	使用部位	最大均質材料含有率 (ppm)
<input checked="" type="checkbox"/>	この行の使用用途分類を選択した場合には、このセルをクリックして、特定物質情報入力にて詳細情報を記載して下さい。		
<input checked="" type="checkbox"/>	この行の使用用途分類を選択した場合には、このセルをクリックして、特定物質情報入力にて詳細情報を記載して下さい。		

- ② 以下は、使用用途分類の J01-J-0 または J01-J-98 を選択して移った第三階層の画面です。

Ver4.31 ツールで対象とする全ての SVHC がリストアップされています。

注)：従来の Ver4.20 ツールでは、第三階層に表示されている各 SVHC の CAS 番号の欄の左側には通し番号を表示していましたが、ユーザー等からの要望を反映し Ver4.31 ツールでは、通し番号の代わりに、各 SVHC に該当する物質群分類 No.を表示しています。

- 上側の半分 (23 ページ) は、各 SVHC の閾値レベル (製品の 0.1 重量%) に対する含有判定が Y の場合 (J01-J-0) に入力する画面です。

注)：閾値レベルを超える場合には、その SVHC の含有情報の入力は必須です。

- 下側の半分 (24 ページ) は、各 SVHC の閾値レベル (製品の 0.1 重量%) に対する含有判定が N の場合 (J01-J-98) に入力する画面です。

注)：閾値レベル以下の場合には、その SVHC の含有情報の入力は任意ですが、把握している場合には入力をお願いします。

食品化学検査項目

ラベル記号	規格基準値	検査項目	使用用途区分コード	検査項目注				
R	JDI	特定のHACCP検査項目対象食品群(1)～ Ver.4調査回答マニュアルホームページの別表A-3参照	JDI-J-0	対象となる種々の物質単位で、調査単位あたりの重量比が1%を超える食品がある場合				
検査項目別検査項目								
検査項目	規格基準値	検査項目(1)	検査項目(2)	検査項目(3)	検査項目(4)	検査項目(5)	検査項目(6)	検査項目(7)
検査項目	規格基準値	検査項目(1)	検査項目(2)	検査項目(3)	検査項目(4)	検査項目(5)	検査項目(6)	検査項目(7)
A17	55-35-9	200-268-0	トリウムスズベキシル(7803)	Tributyl Tin Oxide				
A20	1303-28-2	219-116-9	正臭化ニヒ素	Diarsenic Pentoxide				
A21	1307-53-3	219-461-4	正臭化ニヒ素	Diarsenic Trioxide				
B11	2367-99-4	247-149-4	ヘキサブロンシロリン酸(9800)	Hexabromocyclophosphane (9800)				
B11	2794-32-0	231-695-0	1,2,3,6,10-ヘキサブロンシロリン酸	1,2,3,6,10-Hexabromocyclophosphane				
B11	13427-59-6	-	2-ヘキサブロンシロリン酸	2-Hexabromocyclophosphane				
B11	13427-51-7	-	3-ヘキサブロンシロリン酸	3-Hexabromocyclophosphane				
B11	13427-53-8	-	4-ヘキサブロンシロリン酸	4-Hexabromocyclophosphane				
B09	8553-64-8	287-476-5	臭化亜鉛(臭化鉛) (臭化鉛(10-13))	Alkane, C10-13, alkane (Short Chain Chlorinated Paraffin)				
B16	119-96-9	204-119-5	トリクロロメチルベンゼン (TCEP)	Tri (2-chlorophenyl)methane (TCEP)				
C13	117-61-7	204-211-0	ジメチルエチルベンゼン (DMEP)	Di (2-ethylhexyl) methane (DMEP)				
C13	84-74-2	201-637-4	ジメチルシメタン (DMP)	Dimethylsiloxane (DMP)				
C14	85-48-7	201-622-7	ジメチルベンジルシメタン (DMP)	Benzyl dimethyl siloxane (DMP)				
A22	3646-79-9	231-599-4	臭化ニヒ素(臭化)	Diarsenic trioxide				
A25	7782-87-6	231-646-0	鉛クロム酸	Lead chromate				
A26	12656-65-8	239-759-9	酸化クロム(III) (酸化クロム(III)水酸化物)	Lead chromate hydrate				
A27	1341-37-2	219-693-7	シロリン酸トリス(2-エチルヘキシル)	Tri (2-ethylhexyl) phosphite				
C15	84-68-5	201-553-2	ジメチルシメタン (DMP)	Dimethyl siloxane (DMP)				
C16	016-96	-	アセチルアセチルセレン(II) (アセチルアセチルセレン(II)水酸化物)	Acetylacetylene, Acetylene-Cerium, Fluoride				
C17	017-96	-	ジメチルアセチルセレン(II) (ジメチルアセチルセレン(II)水酸化物)	Dimethyl acetylene-Cerium, Fluoride				
C18	10543-03-3	233-139-2	砒素酸	Baric acid				
C18	11112-00-1	234-343-4	砒素酸	Baric acid				
C19	1303-56-4	-	臭化テトラブロンシロリン酸(臭化)	Diiodine tetrabromate hexahydrate				
C19	1330-43-4	219-540-4	臭化テトラブロンシロリン酸	Diiodine tetrabromate, anhydrous				
C19	12179-04-3	-	臭化テトラブロンシロリン酸	Diiodine tetrabromate, pentahydrate				
C20	12687-79-1	235-947-0	正臭化ニヒ素(臭化鉛) (臭化鉛(10-13))	Tetrasulfon diiodine hexafluoride, hydrate				
C21	1303-60-6	219-126-1	1,2-ベンゼンジカルボキシ酸、4-位に2-ブランチドアルキル基を持つもの (DMP)	1,2-Benzenedicarboxylic acid, 4-C6-8 branched alkyl ester, 2-alkyl ester (DMP)				
C22	68515-42-4	271-994-6	1,2-ベンゼンジカルボキシ酸、臭素置換(1)のもの (DMP)	1,2-Benzenedicarboxylic acid, 4-C7-11 branched and linear alkyl ester (DMP)				
B17	546-09-9	206-953-6	トリメチルアセチルセレン(II) (トリメチルアセチルセレン(II)水酸化物)	Tri (2-ethylhexyl) dimethylphosphorotrioxide (2-Ethylhexyl) ester (DMP)				
A29	7789-08-2	232-142-6	クロム酸	Chromium chromate				
B20	101-14-4	202-918-9	2,2'-ジクロロ-4,4'-メチレンジオキシ-N,N'-ジメチルアセチルセレン(II) (DMCA)	2,2'-dichloro-4,4'-methylenebis (DMCA)				
A30	1193-66-9	234-329-6	2,2'-ジクロロ-4,4'-メチレンジオキシ-N,N'-ジメチルアセチルセレン(II) (DMCA)	2,2'-dichloro-4,4'-methylenebis (DMCA)				
A31	4869-84-5	234-410-0	クロム酸(III) (臭化鉛)	Chromium chromate oxyhydrate				
C23	117-62-5	204-212-0	ジメチルシメタン (DMP)	Dimethyl methoxyethyl siloxane				
C24	140-69-9	203-426-2	4-(1,3,3-ヘキサフルオロイソプロピル)フェノール、4-tert-オクチルフェノール	4-(1,1,3,3-tetrafluoroisobutyl)phenol, 4-tert-Octylphenol				
C25	111-96-6	203-924-4	メチルメチルエーテル	Dimethyl methyl ether				
C26	127-19-5	204-426-4	N,N-ジメチルアセチルセレン(II) (DMAC)	N,N-dimethylacetamide (DMAC)				
B22	1183-19-5	214-604-9	ジクロロメチルエーテル	Dichlorodimethyl ether				
A46	8229-08-7	253-467-1	臭化亜鉛(臭化鉛)	Sulfuric acid, lead salt, basic				
C28	112-49-2	203-977-3	1,2-ジメチルアセチルセレン(II) (DMCA)	1,2-Dimethyl methoxyethyl siloxane (TEGOME) (DMCA)				
A48	12141-00-7	229-252-2	二酸化チタン(臭化鉛)	Titanium dioxide phosphorane				
C29	110-71-4	202-794-9	1,2-ジメチルアセチルセレン(II) (DMCA)	1,2-dimethoxyethane, ethylene glycol dimethyl ether (EGME)				
C40	80-09-3	200-453-6	4-安息香酸	4-Anisobenzene				
A49	12502-17-4	239-380-9	正臭化ニヒ素	Tetradial trioxide sulfate				
A41	1314-41-6	219-235-6	オレンジレッド(臭化鉛)	Orange lead (lead chromate)				
A42	8012-00-8	232-382-1	パラチオア、C1ヒドロキシルイソ(4)	Parathion, antimony lead salt				
A43	12665-90-6	239-067-7	臭化亜鉛(臭化鉛)	Pentachloro lead sulfate				
C41	829-14-1	211-676-1	3-ジメチルアセチルセレン(II)	1,2-Dimethoxyethane				
A44	1303-66-2	219-125-8	正臭化ニヒ素	Diarsenic trioxide				
A44	683-10-1	211-676-9	ジクロロシロリン酸(臭化鉛)	Dibutyltin dichloride (DBTC)				
A45	2057-66-9	244-073-9	シダ酸	Lead pyromellitate				
C43	68-12-2	200-479-5	N,N-ジメチルアセチルセレン(II) (DMAC)	N,N-dimethylformamide				
A46	68784-75-9	272-271-5	チタン(IV)ジシロリン酸(1:1)、臭化鉛	Silicic acid (HDS205) barium salt (1:1), lead based				
C44	84777-06-0	232-032-2	1,2-ベンゼンジカルボキシ酸、ジメチルアセチルセレン(II) (DMCA)	1,2-Benzenedicarboxylic acid, dimethyl ether, branched and linear				
C45	800-90-5	210-688-4	ジメチルシメタン (DMP)	Diisopropylsiloxane (DIP)				
C46	78201-69-9	-	アセチルアセチルセレン(II) (アセチルアセチルセレン(II)水酸化物)	Tri (2-ethylhexyl) phosphite				
A47	12660-00-3	239-038-9	正臭化ニヒ素、チタン酸	Lead titanium trioxide				
A48	12660-61-2	239-127-4	チタン酸(臭化鉛)	Lead titanium stannate				
A49	12660-76-9	234-853-7	チタン酸	Lead oxide sulfate				
A49	68011-06-9	272-688-5	チタン酸(臭化鉛)	Phthalic acid (2-ethylhexyl)				
A41	12576-12-0	239-702-9	チタン酸(臭化鉛)	Diacid (hexamethyl)				
A42	9101-62-9	232-666-7	臭化亜鉛(臭化鉛)	Fatty acid, C18-18, lead salt				
A42	10259-19-9	232-345-9	二酸化チタン	Lead stannate				

物質名	物質区分	物質名	物質区分	物質区分			
R	JD1	特定のREACH規制対象物質(VINCI) - Ver.4調査回答マニュアル2013.09.05の別表A-2参照	JD1-J-98	対象となる個々の物質単位で、調査単位あたりの重量比が0.1%以下の含有がある場合			
有害な物質含有率				調査単位あたりの重量比 (含有率) (%)			
CAS No.	EC No.	物質名(英)	物質名(英)	使用用途	使用部位	調査単位あたりの重量比 (含有率) (%)	有害な物質に関する調査事項
417	200-208-0	リブアルブミンモノシロシ(TBEO)	Tributyl Tin Oxide				
420	215-116-9	二酸化ニオブ	Niobium Pentoxide				
421	215-481-4	二酸化ニオブ	Niobium Trioxide				
422	241-148-4	ヘキサブROMOシクロヘキサン(HBCDD)	Hexabromocyclohexane (HBCDD)				
423	221-625-2	2,2,6,6-テトラブROMOシクロヘキサン	2,2,6,6-Tetra bromocyclohexane				
424	-	ヘキサブROMOシクロヘキサン	Hexabromocyclohexane				
425	-	ヘキサブROMOシクロヘキサン	Hexabromocyclohexane				
426	287-478-5	短鎖塩化パラフィン(炭素数10-13)	Alkanes, C10-13, chloro (Short Chain Chlorinated Paraffins)				
427	204-118-5	1,2-ジエチルジシロキサン(DCSP)	Di(2-ethylsilyl) siloxane (DCSP)				
428	204-211-0	ジメチルジシロキサン(DMSP)	Di(2-methylsilyl) siloxane (DMSP)				
429	201-937-4	ジメチルジシロキサン(DMSP)	Dimethyl siloxane (DMSP)				
430	201-423-7	ジメチルジシロキサン(DMSP)	Dimethyl siloxane (DMSP)				
431	231-589-4	二酸化シリコン(SiO2)	Silica dioxide				
432	231-846-0	二酸化クロム	Lead chromate				
433	235-759-9	二酸化ニオブ酸(二酸化ニオブの酸)	Niobium pentoxide				
434	215-653-7	1,1-ジエチルシロキサン	Diethyl siloxane				
435	201-553-2	ジメチルシロキサン(DMSP)	Dimethyl siloxane (DMSP)				
436	-	ガラス繊維強化プラスチック(ISO 101 E4 4.1の調査対象)	Refractory Organic Fibres				
437	-	ガラス繊維強化プラスチック(ISO 101 E4 4.1の調査対象)	Refractory Organic Fibres				
438	232-139-2	酢酸	Acetic acid				
439	234-343-4	酢酸	Acetic acid				
440	-	四酸化チタン(水酸化物)	Titanium tetrachloride				
441	215-540-4	四酸化チタン	Titanium tetrachloride				
442	-	四酸化チタン(水酸化物)	Titanium tetrachloride				
443	235-541-3	四酸化チタン(水酸化物)	Titanium tetrachloride				
444	276-158-1	2-ベンゼンジメチル-2-チオール	2-Benzenedicarbonyl acid 4-C1-9 branched and linear alkyl esters (DMSP)				
445	271-654-6	2-ベンゼンジメチル-2-チオール	2-Benzenedicarbonyl acid 4-C1-11 branched and linear alkyl esters (DMSP)				
446	248-932-0	4-(4-ヒドロキシフェニル)フェニルシロキサン	4-(4-Hydroxyphenyl)phenyl siloxane				
447	232-142-4	二酸化クロム	Chromium chromate				
448	202-918-9	2-メチル-4-メチルシロキサン(MDCA)	2-Methyl-4-methyl siloxane (MDCA)				
449	234-329-8	四酸化チタン(水酸化物)	Potassium hexafluoroantimonate				
450	238-418-0	四酸化チタン(水酸化物)	Potassium hexafluoroantimonate				
451	204-212-6	ジメチルシロキサン(DMSP)	Di(2-methylsilyl) siloxane				
452	202-428-2	1,1,1,3,3-ペンタメチルシロキサン	1,1,1,3,3-Pentamethyl siloxane				
453	202-824-4	ジメチルシロキサン(DMSP)	Di(2-methylsilyl) ether				
454	204-626-4	3-ジメチルシロキサン(DMSP)	3-Dimethyl siloxane (DMSP)				
455	214-604-9	ジメチルシロキサン(DMSP)	Dimethyl siloxane				
456	202-427-1	四酸化チタン(水酸化物)	Sulfuric acid, lead salt, dibasic				
457	202-977-3	3-ジメチルシロキサン(DMSP)	3-Di(2-methylsilyl) siloxane (TEGDME, tri(2))				
458	235-252-2	二酸化リン	Triacid diacid phosphates				
459	202-794-9	3-ジメチルシロキサン(DMSP)	3-Dimethyl siloxane, ethylene glycol dimethyl ether (DGDME)				
460	200-453-6	トリメチルシロキサン	Tri methyl siloxane				
461	235-280-9	二酸化ニオブ	Niobium pentoxide				
462	215-235-0	3-ベンゼンジメチルシロキサン	3-Benzyloxy siloxane				
463	232-382-1	1,4-ジオクタン	Peroxydicumyl peroxide				
464	235-957-7	四酸化チタン(水酸化物)	Phthalic anhydride				
465	211-076-1	1,2-ジメチルシロキサン	1,2-Dimethyl siloxane				
466	215-125-8	二酸化ニオブ	Niobium pentoxide				
467	211-870-0	ジブチルジシロキサン(DDBT)	Di butyl siloxane (DDBT)				
468	244-973-9	シタラキチン	Lead chromate				
469	200-879-5	N,N-ジメチルホルムアミド	N,N-dimethylformamide				
470	212-271-2	4-ヒドロキシシクロヘキサン(1,1,1,3,3-ペンタメチルシロキサン)	4-Hydroxy cyclohexane				
471	222-832-2	2-ベンゼンジメチル-2-チオール	2-Benzenedicarbonyl acid, dimethyl ester, branched and linear				
472	210-008-4	ジメチルシロキサン(DMSP)	Dimethyl siloxane (DMSP)				
473	-	トリメチルシロキサン	Tri methyl siloxane				
474	235-038-9	二酸化ニオブ	Lead stannum trioxide				
475	235-727-4	チタン(IV)オキシド	Lead stannum titanium oxide				
476	234-853-7	チタン(IV)オキシド	Lead oxide				
477	272-680-5	チタン(IV)オキシド	Phthalic anhydride				
478	235-702-0	3-メチルシロキサン(DMSP)	3-Methyl siloxane				
479	232-966-7	四酸化チタン(水酸化物)	Fatty acids, C18-18, lead salt				
480	232-242-9	二酸化ニオブ	Lead dichromate				

- ③ 第三階層の各項目の回答方法については、Ver4.3 調査回答マニュアルの 14 ページ、  
 (5) 含有化学物質の情報を参照して下さい。

【各項目の入力例】

調査単位あたりの化合物含有量(mg)	使用用途・目的	使用部位	調査単位あたりの重量濃度(自動計算)(wt%)	含有化学物質に関する追記事項
3.000	可塑剤	外装	1.50	〇〇〇〇〇

注 1) : 各 SVHC の含有判定 (Y/N) の入力欄はありませんが、閾値レベルを超える場合には、以下の三項目 (④、⑤、⑥) の入力が必要。各 SVHC の CAS 番号の行の 3 項目全ての入力がエラーチェック 2 の対象です。

注 2) : 各 SVHC の含有判定 (Y/N) は、各項目の入力データを判断し従来 (Ver4.20) と同様に JGP ファイルにデータが保存されます。

注 3) : 各 SVHC の行には、物質群分類 No. や使用用途分類コードが設定されていますが、使用用途分類コードは画面上には表示されません。それぞれの SVHC の物質群分類 No. および使用用途分類コードは、本操作マニュアルの別表 4 または Ver4.3 調査回答マニュアルの別表 A-2、別紙 6 の使用用途分類リスト (SVHC) を参照下さい。

注 4) : 上記の物質群分類 No. や使用用途分類コードなどの隠し項目も含め、第三階層の各データの処理方法に関しては、本操作マニュアルの別表 5 を参照下さい。

注 5) : CAS 番号が無い SVHC について ;  
 第三階層には CAS 番号の無い SVHC もリストアップされています。この場合にはデータ管理上、特定の番号を設定し表示しています。

例) : アルミノ珪酸塩,耐火セラミック繊維の場合は、C16-NA を設定しています。  
 C16 はこの SVHC の物質群分類 No. であり、NA は不適用を意味しています。

C16-NA	-	アルミノ珪酸塩,耐火セラミック繊維 (JIG-101 Ed 4.1の別表Bを参照)
C17-NA	-	ジルコニアアルミノ珪酸塩,耐火セラミック繊維 (JIG-101 Ed 4.1の別表Bを参照)

④ 調査単位当たりの化合物含有量(mg)の入力 : (必須)

- 記載されている CAS 番号の化合物含有量を mg 単位、有効数字 2 桁 (3 桁目は四捨五入) で入力して下さい。CAS 番号が無い SVHC の場合も入力して下さい。
- 含有量の小数点以下の入力値の表示は 3 桁までです。
- 金属化合物の場合でも金属換算せずに、その化合物の含有量を入力して下さい。

⑤ 使用用途・目的 : (必須)

- 記載されている CAS 番号の化合物を使用した意図を簡単に記入して下さい。入力出来る文字数は、全角で 60 文字まで、半角英数字は 120 文字までです。  
CAS 番号が無い SVHC の場合も入力して下さい。

⑥ 使用部位 : (必須)

- 記載されている CAS 番号の化合物が含有している部位を入力して下さい。入力出来る文字数は、全角で 60 文字まで、半角英数字は 120 文字までです。  
CAS 番号が無い SVHC の場合も入力して下さい。

⑦ 調査単位あたりの重量濃度(%) :

- 記載されている CAS 番号の調査単位あたりの重量濃度は、化合物含有量の入力数値を基に、自動計算され自動表示されます。ただし、第一階層の調査単位質量が入力されている事が条件です。CAS 番号が無い SVHC も同様です。

注 1) : 第三階層から第一階層に戻り、該当する調査対象アイテムの調査単位質量の入力数値を変更した場合、SAVE JGP の際に、最新の調査単位質量に基づき、調査単位あたりの重量濃度の再計算が行われます。

注 2) : 調査単位あたりの重量濃度(%)の数値は、エラーチェック 2 において、J01 の含有判定 (Y/N) との整合性がチェックされます。詳細は、本操作マニュアルの 8.3 エラーチェック 2 および別表 4 を参照。

⑧ 含有化学物質に関する追記事項 : (任意)

- 該当する CAS 番号の化合物に関する追加の情報があれば入力して下さい。CAS 番号が無い SVHC も同様です。  
入力出来る文字数は、全角で 60 文字まで、半角英数字は 120 文字までです。

⑨ [OK] ボタンと [CANCEL] ボタン (第二階層に戻る) :



- 画面の上部にある [OK] ボタンをクリックすると第二階層に戻ります。(入力されたデータは保持された状態で戻ります。)

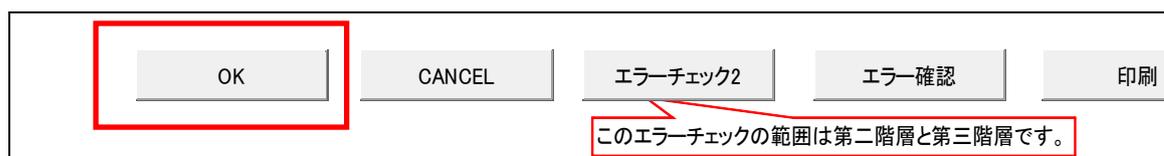
注 1) : この時、入力データを保持して第二階層に戻りますが、このデータが無条件で JGP ファイルに保存されるという事ではありません。

注 2) : 第三階層にはエラーチェックボタンはありません。第三階層の入力データのエラーチェックは、第二階層のエラーチェック 2 に含まれます。詳細は、8.3 項を参照してください。

- [CANCEL] ボタンをクリックすると、第三階層で入力したデータが廃棄され第二階層に戻ります。

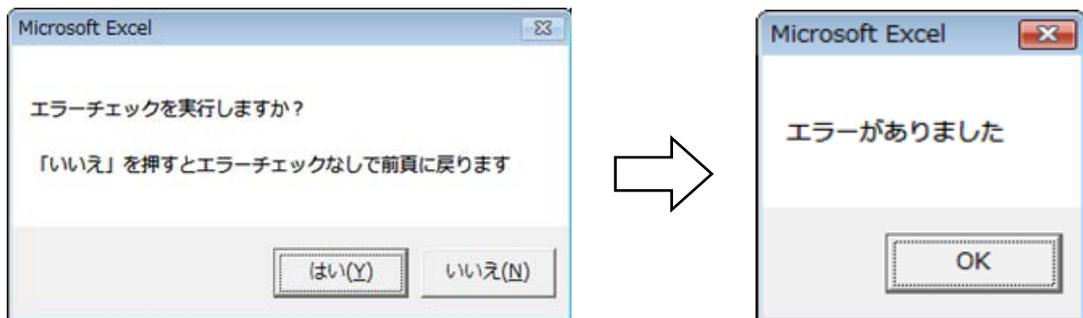
6.6 エラーチェック 2 の実行 (チェックの範囲は第二階層および第三階層のデータ) :

- 第二階層の物質群全て、および第三階層について必要事項の入力が終了したら画面の上部にある [OK] ボタンをクリックして下さい。



- 以下の図の様にエラーチェックを実行するかどうかの質問があります。  
[はい] をクリックするとエラーチェックが実行されます。[いいえ] をクリックするとエラーチェックなしで第一階層に戻ります。

注) : 最終回答作成の場合は必ず [はい] で、エラーチェックを実行して下さい。



注) : エラーチェック 2 は [エラーチェック 2 ボタン] をクリックしても実行できます。

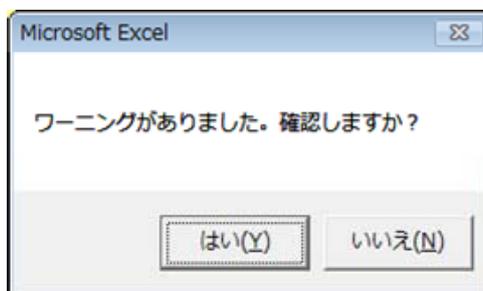
- エラーがあると、上図の様に「エラーがありました」が表示されます。
- [OK] をクリックするとエラーチェックを実行した結果の、エラーまたはワーニングの内容が表示されます。以下はエラーチェックの結果の表示例です。入力が必要な項目にデータが無い場合などはエラー (Error) 内容を表示します。ワーニング (Warning) は注意を呼びかける内容です。

[ Error No.1015 ](A05/Cd-R-3/使用用途・目的)[使用用途分類]が選択されている場合は、[使用用途・目的]を入力してください。  
 [ Error No.1016 ](A05/Cd-R-3/使用部位)[使用用途分類]が選択されている場合は、[使用部位]を入力してください。  
 [ Error No.1102 ](A05/Cd-R-3/最大均質材料含有率(ppm))選択されている使用用途分類コードに対する「最大均質材料含有率」の入力数値が100ppm以下です。  
 [ Warning No.2001 ](A07)[含有判定]がN、[使用用途分類]が選択されている項目の[総含有量]が未入力です。  
 [ Error No.1100 ](A07)含有判定(Y/N)と、選択されている使用用途分類の整合性が取れていません。  
 [ Error No.1010 ](A10)[含有判定]にYかNを入力してください。  
 [ Warning No.2004 ](B08)[含有判定]がN、[使用用途分類]が選択されていない項目の[総含有量]が入力されています。

- [戻る] のボタンをクリックすると元画面に戻ります。エラー (Error) の内容を修正して再度エラーチェックを実行して下さい。

注) : エラーチェックの内容および注意事項は、8. エラーチェック関連ボタンの機能、を参照して下さい。

- エラーチェックの結果、エラー (Error) およびワーニング (Warning) が何も検出されなかった場合には、自動的に第一階層の画面に戻ります。
- エラーチェックの結果でワーニング (Warning) のみが検出された場合は以下の表示が出ます。ワーニングの内容を確認したい場合は、[はい] をクリックするとワーニング内容が表示されます。[いいえ] をクリックすると、ワーニングで表示されている入力データの状態で、第一階層の画面に戻ります。



## 6.7 入力した内容の調査回答フォーマットへの保存 (SAVE JGP) :

- ① 第二階層の画面のエラーチェック結果で問題がなければ第一階層の画面に戻り、「含有総合判定」の欄に Y または N が自動的に表示されます。

調査対象アイテムについて、第二階層の各物質群 (J01 含む) の含有判定で、Y が 1 つ以上あれば含有総合判定は Y が自動表示されます。第二階層の物質群全て (J01 含む) の含有判定が N の場合にのみ、含有総合判定に N が表示されます。(画面上の吹き出し、および下図表示例参照)

調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	含有総合判定	化学物質 情報入力	化学物質 データコピー	化学物質 データ消去
piece	2500.000	N	Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear

- ② 回答元に関する情報の一番下にある「回答に関する追加情報」に、必要であれば回答全般に関するコメントなどを入力して下さい。(下図の画面表示例参照)  
入力出来る文字数は、全角で 100 文字まで、半角英数字は 200 文字までです。

ADD JGP
**SAVE JGP**
見出し変更
エラーチェック1
エラー確認
並べ替え
部品一覧印刷

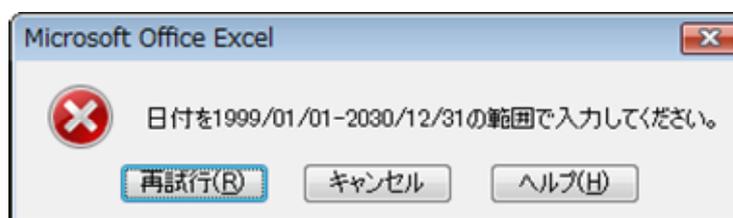
言語設定

このエラーチェックの範囲は第一階層と第二階層です。  
 第三階層のエラーチェックは出来ません。

回答元記入日(YYYY/MM/DD)

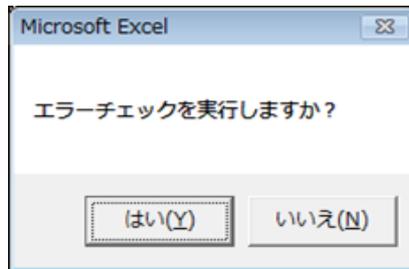
回答元に関する情報	英語	日本語
会社名		XXX商事
DUNSナンバー		
住所		東京都港区〇〇〇
部署名		###課
記入者名		山田次郎
電話番号	03-1***-9**3	
FAX番号	03-1***-9**4	
E-MAILアドレス	y*.jiro@***.co.jp	
依頼元管理項目4		
依頼元管理項目5		
依頼元管理項目6		
回答に関する追加情報(英語)	調査依頼いただきましたアイテムは〇〇〇を検討中です。	
回答に関する追加情報(日本語)		

- ③ 回答元記入日が入力されているか確認して下さい。入力必須項目です。  
年月日は、必ず、YYYY/MM/DD の形式で入力して下さい。(上図参照)  
入力データが正しくない場合には下記が表示されますので「再試行」をクリックし、入力データを訂正して下さい。「キャンセル」をクリックすると入力した日付が削除されます。



- ④ 画面上部の「SAVE JGP」ボタンをクリックすると、エラーチェックを実行するかどうかの表示が出ますので、「はい」をクリックして下さい。(下図参照)  
このエラーチェックでは第一階層および第二階層の両画面のチェックを行います。

注 1) : この時、第三階層の入力データのエラーチェックは実行されません。



注 2) : エラーチェックを実行しないで SAVE JGP を行う場合には、JGP ファイルの出力条件を確認して下さい。詳しくは本マニュアルの 10 ページの 5.2 の注) を参照。

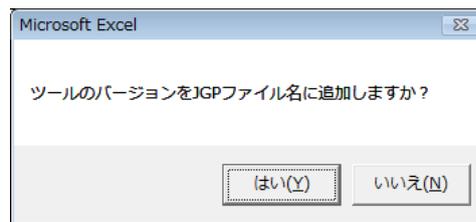
注 3) : 第一階層と第二階層のエラーチェックは、[エラーチェック 1]のボタンでも行えます。

- ⑤ エラーチェックで問題がなければ保存するファイルを指定する画面（ファイルを保存）が出ます。（下図参照）。

注) : エラーがあった場合にはエラー内容を修正し、再び [SAVE JGP] をクリックして下さい。

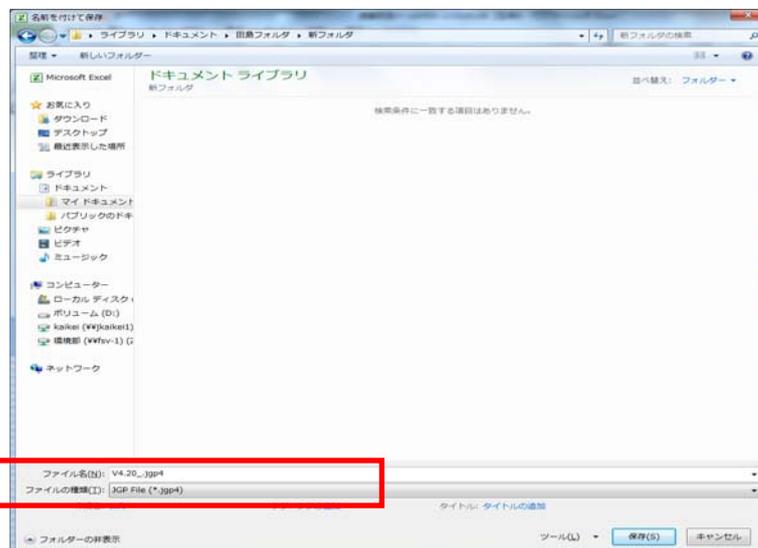
- 次に以下のメッセージが表示されます。

これは Ver4.31 ツールで作成された JGP ファイルであることを容易に識別できる様に、JGP ファイルのファイル名の先頭に「V4.31\_」を自動的に追加する機能です。  
[はい] を押すと、この機能が有効になります。

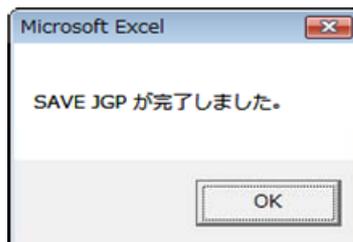


- 保存するフォルダを選び、ファイル名に保存するファイルの名称を入力して下さい。（下図例参照）
- ファイルの種類は、JGP4 ファイル(\*.jpg4)、が自動的に設定されています。ファイル名には、「V4.31\_」が自動的に追加されている例です。

注) : Ver4.20 ツールで作成された JGP ファイルと区別するために、ファイル名の先頭には「V4.31」などの文字を追加することをお勧めします。

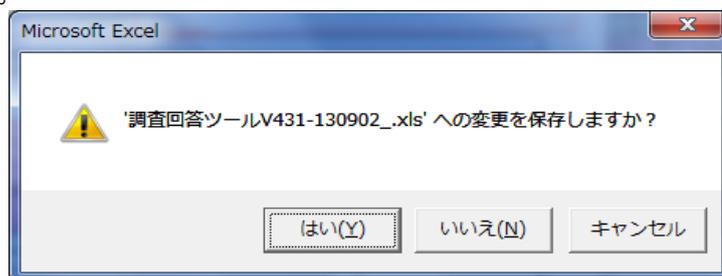


- 上記の画面で〔保存〕をクリックし、下図が表示されたら〔OK〕をクリックして下さい。これで JGP ファイルの保存が完了です。



## 6.8 調査回答ツールの終了 :

- エクセル画面の右上の X ボタンなどをクリックし、ツールを閉じて下さい。以下の画面 (例) が表示されたら、必要に応じて〔はい〕もしくは〔いいえ〕をクリックして下さい。



注) : ツールを閉じる際に〔はい〕をクリックして保存される内容には、最後に実行されたエラーチェック結果の内容が保存される場合があります。従って、保存したツールを次に開いた直後にエラー確認ボタンを押すと、以前に実行されたエラーチェックの結果 (エラー内容) が表示されることがあります。

## 6.9 JGP ファイルを依頼元へ送る :

- 回答データが入力された JGP ファイルを、電子メール等により依頼元へ送ります。

注) : 原則として依頼元と回答元のデータ交換は JGP ファイルを使用して下さい。

## 7. 旧フォーマットデータ (Ver3.xx, Ver4.0x, Ver4.1x 及び Ver4.20 の JGP ファイル) の読み込み

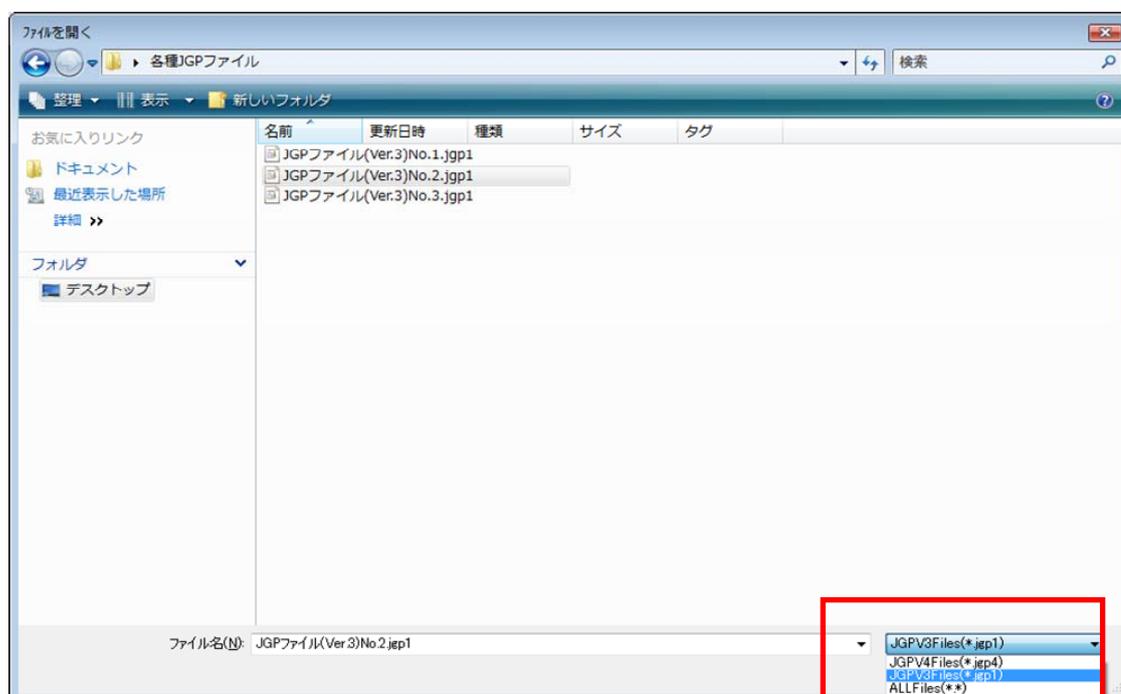
- Ver4.31 ツールは、Ver3.xx ツール (標準型)、Ver4.0x, Ver4.1x 及び Ver4.20 ツールで作成された JGP ファイルのデータを読み込む事が出来ます (読み込みデータの制限あり。以下の注 5 を参照)。

注 1) : 旧の調査回答ツールを使い、最新の調査回答ツールで作成した JGP ファイルを読み込む事は想定していません。

例 : Ver4.20 ツールを使用し、Ver4.31 ツールで作成した JGP ファイルを LOAD JGP を実行すると以下のメッセージを表示し、読み込みません。



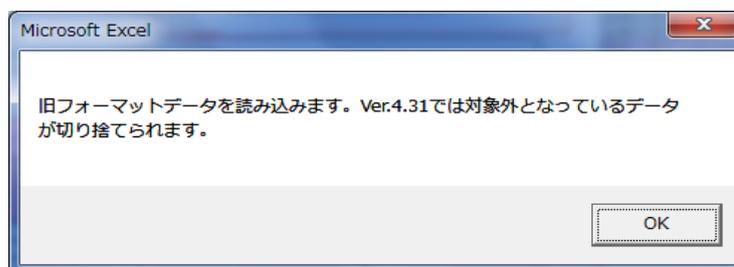
- 以下の画面例は、Ver3.xx の JGP ファイル（JGP1）を読み込む場合の例です。
- （〔LOAD JGP〕をクリックすると下図の「ファイルを開く」の画面が表示されます。ファイルの種類で、JGPV3Files(\*jpg1)ファイルを選択します。次にフォルダから拡張子jpg1のファイルを選択し〔開く〕をクリックして下さい。
- Ver4.0x,Ver4.1x 及び Ver4.20 の JGP ファイルを読み込む場合には、ファイルの種類で、JGPV4Files(\*jpg4)ファイルを選択します。



注 2) : 対象となる Ver3.xx ツール（標準型）の JGP ファイルは、Ver3 の各種のバージョンで作成された JGP1 ファイルのみです。

注 3) : 対象となる Ver4.0x, Ver4.1x ツールの JGP4 ファイルは、Ver4.00,Ver4.01,Ver4.02 ,Ver4.10 および Ver4.11 ツールで作成された JGP ファイルです。

- 下図が表示されます。〔OK〕ボタンをクリックして下さい。Ver3.xx の JGP1 ファイルまたは Ver4.0x, Ver4.1x 及び Ver4.20 の JGP4 のデータが読み込まれますが、下図の表示画面で記載されている様に、読み込めるデータには制限があります。



注 4) : Ver3xx の JGP1 ファイル,Ver4.0x,Ver4.1x 及び Ver4.20 の JGP4 ファイルを読み込むと、第一階層画面の「含有総合判定」の欄は自動的に空欄（空白）に設定されます。これは、Ver3xx,Ver4.0x,Ver4.1x 又は Ver4.20 では存在しなかった、Ver4.31 の物質群の含有判定の一部が空欄となり、Ver3x,Ver4.0x,Ver4.1x 又は Ver4.20 で入力されていた含有総合判定の結果は不完全な状態となるためです。

注 5) : <読み込めるデータの制限について> :

- JIG-101A に対し、JIG-101 Ed 4.1 で追加された物質群のデータは空欄になります。(Ver3.xx の JGP ファイルには無いデータ)
- JIG-101 Ed 3.1 に対し、JIG-101 Ed 4.0 および Ed 4.1 で追加または削除された物質群のデータは読み込みません。(Ver4.0x, Ver4.1x の JGP ファイルに無いデータ)
- Ver4.31 ツールに記載されている使用用途分類と同じコードの Ver3.xx, Ver4.0x または Ver4.1x の使用用途分類と、それに関連するデータを読み込みます。ただし Ver3.xx にオゾン層破壊物質の C04-J-98 が存在した場合でも C04-J-98 のデータは定義が異なるため読み込みません。
- Ver3.xx および Ver4.0x で設定している A18: TBT 類/TPT 類のデータで読み込むのは、第二階層目の総含有量、使用用途・目的、使用部位および追記事項のみとします。また、この場合、A28: 三置換有機スズ化合物として読み込みます。(JIG-101 Ed 3.0 により、従来の TBT 類/TPT 類に代わり、三置換有機スズ化合物を物質群として設定しましたが、A18: TBT 類/TPT 類と比較し対象物質の範囲が広く閾値レベルも異なるため物質群分類 No.A18 は使用しません。)
- Ver3.xx の C05: 一部のフタル酸エステル類は、Ver4.31 ツールの C09: フタル酸エステル類 グループ 1 (BBP, DBP, DEHP) としては読み込みません。(対象物質と閾値レベルが異なるため)
- Ver4.0x の C09: フタル酸エステル類 DEHP DBP BBP のデータは、第二階層目の総含有量のみ読み込みます (閾値レベルが異なるため)。ただし、各 SVHC のデータがある場合には、新たな使用用途分類コードに変換して読み込みます。
- Ver4.31 では第三階層目の任意入力用の 3 行の空白行は用意しない為、Ver4.0x ツールで設定されていた場合、切捨てを行います。
- 物質群の J01 の含有判定 (Y/N) はブランク (空欄) として読み込みます。

## 8. エラーチェック関連ボタンの機能

### 8.1 エラーチェック 1 (第一階層のボタン) :

#### ① エラーチェックの対象範囲 :

- 第一階層と第二階層の両方の各データのチェックを行います。第三階層のチェックは出来ませんのでご注意ください。
- 第一階層の [OK] ボタンによるエラーチェック実行の内容も同様の範囲です。

#### ② 第一階層のデータのチェック内容 : (別表 1.参照)

##### 1) 必須チェック :

以下の項目の内容が長さ 0 (ゼロ) の文字列であった場合、エラーチェック 1 ボタンの押下げ時のチェック実行でエラーとなります。

「回答元記入日、会社名英語または会社名のいずれか一方、回答元の記入者名または記入者名のいずれか一方、メーカー名、製品/部品/材料番号 (回答元)、調査単位、調査単位質量 (g/調査単位)、含有総合判定。」

- 2) 日付チェック：  
依頼元記入日、回答元記入日および改訂日の入力形式が YYYY/MM/DD である事と、一定の期間内であることを、入力時またはエラーチェック 1 ボタン押下げ時にチェックし、正しくない場合はエラーとなります。
- 3) 数値チェック：  
板厚(mm)、径(mm)、改訂日および調査単位質量(g/調査単位) のデータが、数値でない場合、入力時またはエラーチェック 1 ボタン押下げ時の実行でエラーとなります。
- 4) 全角チェック：  
対象の項目のデータが全角文字を含む場合、入力時またはエラーチェック 1 ボタン押下げ時のチェック実行でエラーとなります。  
(対象の項目の詳細は、別表 1.参照)
- 5) データ長(桁数)チェック：  
対象の項目のデータが、指定されたバイト数を超える場合、一部の項目(以下の注参照)は入力時またはエラーチェック 1 ボタンの押下げ時の実行で不正となります。  
(対象の項目の詳細は、別表 1.参照)

注) : DUNS ナンバー(依頼元、回答元)、住所英語(回答元)、依頼元の製品/部品番号および製品/部品/材料名称(回答元)は入力時にもエラーとなります。

- 6) データの値の妥当性チェック：  
以下の項目のデータが、「妥当性チェックの内容」に反する場合は、データ入力時またはエラーチェックボタン 1 の押下げ時の実行で不正となります。  
各項目の「妥当性チェックの内容」は、以下の( )内です。

「依頼元記入日(1999/01/01~2030/12/31)、E-MAIL アドレス(@の存在)、回答元記入日(1999/01/01~2030/12/31)、径(0以上9999999999以下)、改訂日(1999/01/01~2030/12/31)、調査単位(空欄/peace/g/kg/mm/m/cm2/m2/cc/liter/m3)、含有総合判定(Y、N)」

注) : E-MAIL アドレス(@の存在)は、データ入力時には検出しません。

- 7) JGP ファイルの出力条件に関する必須チェック：  
「メーカー名」、「回答元の製品/部品/材料の番号」、「依頼元の製品/部品番号」、「材料グレード No.」、「金属記号・JIS 記号」、「メーカー着色 No.」、「板厚(mm)」、「色」、「径(mm)」のいずれかが入力されている行を出力します。  
ただし、「メーカー名」および「依頼元の製品/部品/材料番号」以外の7項目は「エラーチェック 1」ボタン押下時に必須チェックは行ないません。

③ 第二階層のデータのチェック内容:(詳細は別表 2.および別表 4 参照)

- 1) 必須チェック：  
以下の項目の内容が長さ0(ゼロ)の文字列であった場合、エラーチェック 1 ボタンの押下げ時のチェック実行でエラーとなります。

「閾値レベルによる含有判定(Y/N)、総含有量(mg)、使用用途・目的、使用部位および最大均質材料含有率(ppm)」

ただし、エラーとなる場合、各種の条件があります。以下の注)を参照下さい。

注 1) : 総含有量(mg)について、「含有判定」が「Y」に設定されている場合、「総含有量」は必須チェックを行います。また、「含有判定」の「Y」「N」に依らず、「総含有量」>「調査単位質量(第一階層目)」の場合は、エラーとします。



## 8.2 エラー確認（第一階層のボタン）：

- エラーチェック1の結果内容を表示します。このボタンではエラーチェックの実行はせず、既に実行済みのエラーチェックの結果を表示します。

## 8.3 エラーチェック 2（第二階層のボタン）

### ① エラーチェックの対象範囲：

- 第二階層と第三階層の両方の各データのチェックを行います。
- 第二階層の [OK] ボタンによるエラーチェック実行の内容も同様の範囲です。

### ② 第二階層のデータのチェック内容：上記、8.1 ③と同様です。

### ③ 第三階層のデータのチェック内容：（詳細は別表 3、別表 4 参照）

#### 1) 必須チェック：

CAS No. (又は特定番号) が記載されている行の調査単位あたりの化合物含有量 (mg)、使用用途・目的、使用部位の 3 項目のどれかに、内容が長さ 0 (ゼロ) の文字列であった場合、エラーチェック 2 ボタンの押下げ時のチェック実行でエラー又はワーニングとなります。

尚、物質群 (J01) の含有判定 (Y/N) と該当する使用用途分類 (J01-J-01 および J01-J-98) との整合性および、第三階層の各 SVHC の入力データの必須チェックは以下です。

- J01 の「含有判定」が「Y」に設定され、J01-J-01 の該当用途が選択されている場合に第三階層目の使用用途分類コード J01-J-01 に「調査単位あたりの化合物含有量 (mg)」、「使用用途・目的」、「使用部位」全ての項目が入力されている行が一つ以上存在しない際はエラーとする。
- J01 の「含有判定」で「Y」が選択され、J01-J-01 の該当用途が選択されていない場合にはエラーとする。
- J01 の「含有判定」が「N」に設定され、J01-J-01 の該当用途が選択されている場合に第三階層目の使用用途分類コード J01-J-01 に「調査単位あたりの化合物含有量 (mg)」、「使用用途・目的」、「使用部位」全ての項目が入力されている行が一つ以上存在する際はエラーとする。
- J01 の「含有判定」が「N」に設定され、J01-J-98 の該当用途が選択されている場合に第三階層目の使用用途分類コード J01-J-98 に「調査単位あたりの化合物含有量 (mg)」、「使用用途・目的」、「使用部位」全ての項目が入力されていない行（入力不完全な行）が一つ以上存在する際はワーニングとする。ただし、全ての行情報が入力されていない場合は、対象外。
- J01 の「含有判定」で「N」が選択され、J01-J-98 の該当用途が選択されていない場合に第三階層目の使用用途分類コード J01-J-98 に「調査単位あたりの化合物含有量 (mg)」、「使用用途・目的」、「使用部位」全ての項目が入力されている行が一つ以上存在する際はワーニングとする。
- J01 の「含有判定」で N が選択され、J01-J-98 の該当用途が選択されている場合、第三階層目の使用用途分類コード J01-J-98 に「調査単位あたりの化合物含有量 (mg)」、「使用用途・目的」、「使用部位」全ての項目が入力されている行が一つ以上存在しない際はエラーとする。

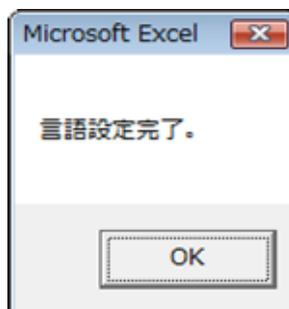
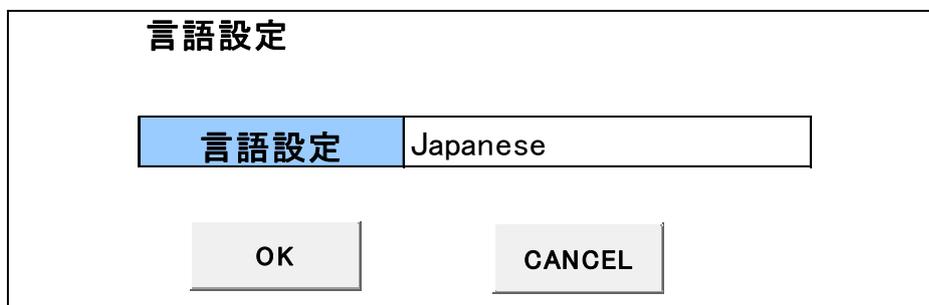
注) : J01 の含有判定が N の場合、第三階層目の含有情報を全て入力する意思がない場合には J01-J-98 の該当用途を選択しないで下さい。



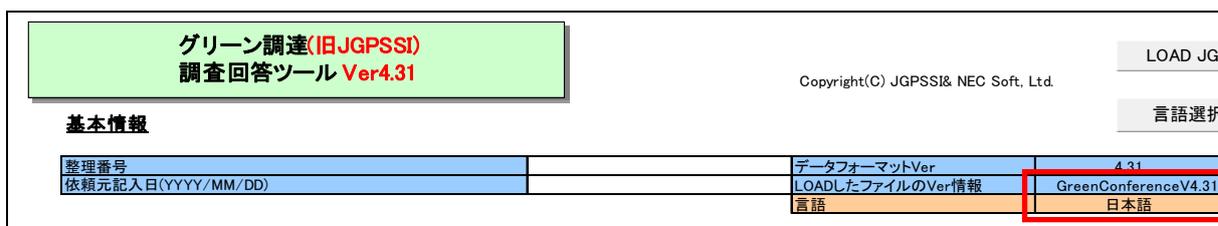
## 9. その他の各種ボタンの機能

### 9.1 [言語設定]

このボタンは Ver4.31 ツールを起動した際に、毎回、同じ言語ツールを表示させたい場合に使用します。例えば、常に日本語版ツールを使用したい場合には、言語設定のボタンをクリックし、下図のように、言語設定のプルダウンメニューで「Japanese」を選択し OK をクリックします。すると「言語設定完了」の表示が出ますので OK ボタンをクリックし、第一階層の画面に戻ります。



次に、下図のように第一階層画面の言語の欄に「日本語」が表示されます。この状態で Ver4.31 ツールを、ファイル名を変えるなどして、保存して下さい。再度このツールを起動すると、言語選択の画面は表示されず、日本語版ツールが開きます。



### 9.2 [Copy] (下図参照)

**Copy** ボタンをクリックし、この行の対象アイテムの下位のデータ（第二階層の含有化学物質群情報および第三階層の含有化学物質情報）を他の行の対象アイテムにコピーする事ができます。

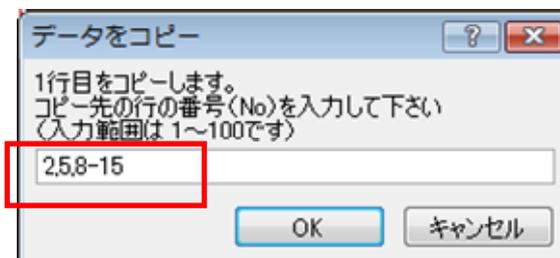
調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	含有総合判定	化学物質 情報入力	化学物質 データコピー	化学物質 データ消去
piece	2500.000	Y	Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear

操作方法：

コピーしたいデータ行の〔Copy〕ボタンをクリックし、下図の例の様にコピー先の行番号を入力して〔OK〕をクリックして下さい。（1行目のCopyボタンの例）

コピー先の行番号は、個別行および連続行で指定する事が出来ます。個別行は半角カンマで区切り、連続行は半角ハイフンを入れます。

【下図は2行目、5行目および8行目から15行目に同じデータをコピーする場合の入力例】

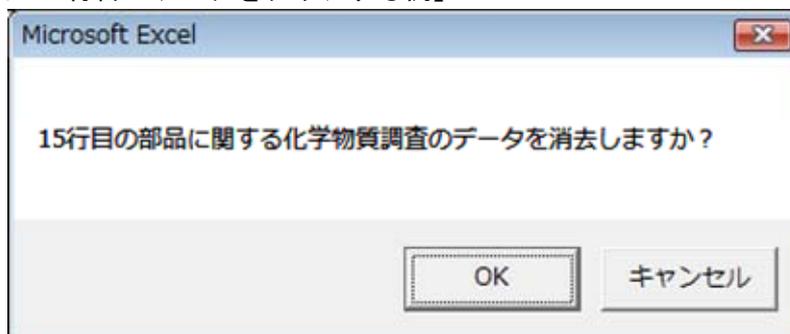


### 9.3 [Clear]

Clear ボタンをクリックすると下記の表示が現れ、〔OK〕をクリックすると、この行の対象アイテムの下位のデータ（第二階層の含有化学物質群情報および第三階層の含有化学物質情報）を消去する事ができます。

調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	含有総合判定	化学物質情報入力	化学物質データコピー	化学物質データ消去
piece	2500.000	Y	Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear

【下図は15行目のデータをクリアする例】



### 9.4 [昇順]・[降順] (各調査対象アイテム、含有総合判定の並べ替え)

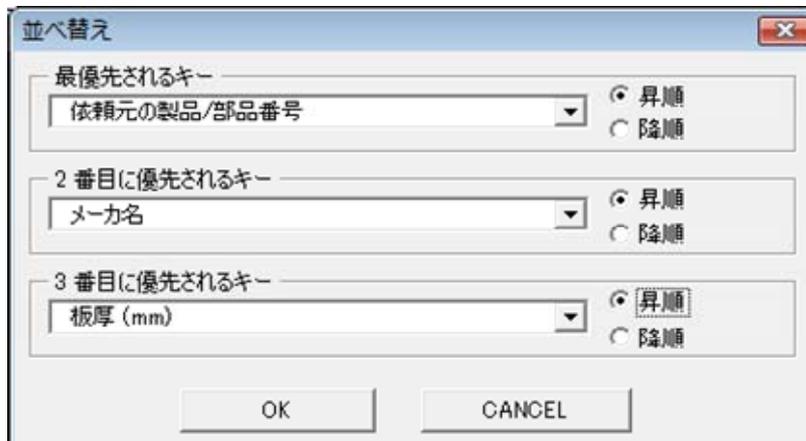
下図の様に、各項目の〔昇順〕・〔降順〕のボタンをクリックし並べ替えを行う事ができます

No.	依頼元の製品/部品の番号	依頼元の製品/部品/材料の名称	メーカー名	回答元の製品/部品/材料の番号	含有総合判定
1					
2					
3					

## 9.5 [並べ替え]

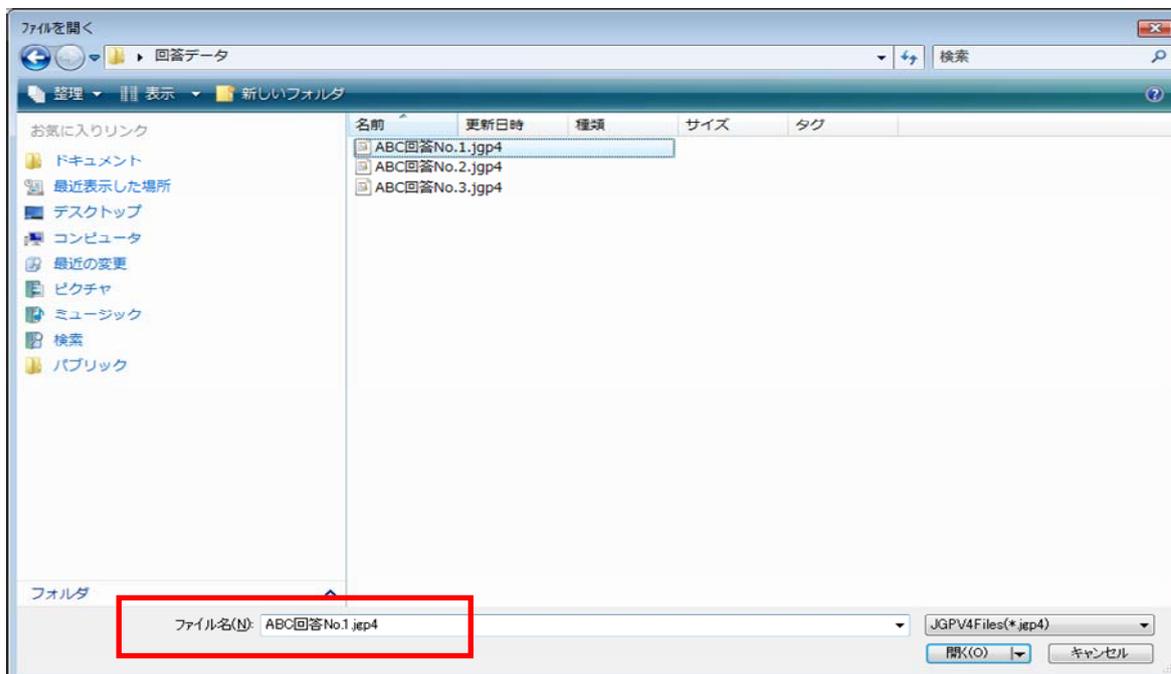
並べ替え画面を表示し、並べ替えを行います。  
上記 9.4 の項目以外でも、調査対象アイテムなどの項目をキーにした並べ替えが出来ます。  
下図の例の様に並べ替えのキーをプルダウンメニューから選択して下さい。三番目まで優先順位のキーを設定できます。昇順、降順も選択し [OK] をクリックして下さい。

### 【入力例】



## 9.6 [ADD JGP]

JGP ファイルの追加読み込みを行います。ファイルを開く、の画面より読み込む JGP ファイルを指定します。基本情報は読み込みません。  
下図の例の様に、フォルダからファイル名を選択して [開く] をクリックします。



既に部品のデータがある場合、No.の最大の行の次の行から読み込みます。  
読み込みが完了すると下図が表示されます。



注) : No.100 に入力データが存在する場合には、実行しません。下記が表示されます。  
 また、追加した合計点数が 100 を超えた場合は、100 点までのデータは読み込まれますが、残りのデータは無視されます。この場合も下記が表示されます。



## 9.7 [見出し変更]

このボタンで下図の入力例の様に見出し変更の画面に切り替わり、項目見出し（依頼元管理項目、依頼元項目、回答元項目）を設定する事が出来ます。

各項目の使用方法は Ver4.3 調査回答マニュアルの、5.調査項目、を参照下さい。

- 依頼元管理項目 1～3 は依頼元に関する追加情報を記載し、依頼元の設定に基づき使用します。それ以外の目的では使用しないで下さい。（使用例：部門コード、拠点コードなど）
- 依頼元管理項目 4～6 は依頼元で設定し、依頼元が回答元に関する情報を管理するために使用します。それ以外の目的では使用しないで下さい。（使用例：取引先名、取引先コードなど）
- 回答元項目 1～3 は回答元が使用します。（回答元のメモ）

注) : 見出し変更画面で入力したデータは JGP ファイルには反映（保存）されません。  
 ただし、入力したデータはツールには保存され、入力した内容が画面で表示されます。  
 そのため、各依頼元毎のツールを別のファイル名に変えて保存しておくことをお勧めします。

### 【入力例】

見出し変更			
基本情報			
依頼元管理項目 1	部門コード	依頼元管理項目 4	取引先コード
依頼元管理項目 2	拠点コード	依頼元管理項目 5	
依頼元管理項目 3		依頼元管理項目 6	
製品・部品・材料情報			
依頼元項目 1	XYZ	回答元項目 1	
依頼元項目 2	〇〇〇	回答元項目 2	
依頼元項目 3		回答元項目 3	
OK		CANCEL	

【ツールの画面の表示例】（上記例の結果として部門コードと拠点コードが表示されています。）

依頼元に関する情報	英語	日本語
会社名		
DUNSナンバー		
部署名		
担当者名		
電話番号(担当者連絡先)		
FAX番号		
E-MAILアドレス		依頼元からの連絡事項の記入上の注意 回答を記入する際の依頼元からの注意点や連絡事項 目です。
依頼元管理項目1	部門コード	
依頼元管理項目2	拠点コード	
依頼元管理項目3		
依頼元からの連絡事項(英語)		
依頼元からの連絡事項(日本語)		

## 9.8 [部品一覧印刷]

基本情報がある画面のこのボタンをクリックすると、印刷プレビューを表示し印刷を行います。  
基本情報/製品・部品・材料情報を印刷します。

## 9.9 [印刷]

含有化学物質情報の画面にあるこのボタンをクリックすると、印刷プレビューを表示し印刷を行います。表示している画面の含有化学物質情報を印刷します。

## 9.10 [CANCEL] (第二階層画面)

第二階層に入力した内容を破棄して、第一階層の画面に戻ります。第一階層から第二階層に移った時点の内容に戻ります。

## 9.11 [CANCEL] (第三階層画面)

第三階層に入力した内容を破棄して、第二階層の画面に戻ります。第二階層から第三階層に移った時点の内容に戻ります。

## 別表1. [エラーチェック 1] ボタンによる第一階層のデータのチェック内容

○印は、データ入力時のチェック、◎印は「エラーチェックボタン 1」ボタン押下げ時などにおけるチェック。

注) : データの値の妥当性チェックに関しては、本文を参照下さい。

名称	チェック内容					
	必須	全角	数値	日付	桁数チェック	桁数
<b>◆基本情報</b>						
整理番号						40
依頼元記入日(YYYY/MM/DD)		○○		○○(YYYY/MM/DD)		
<b>◆基本情報(依頼元に関する情報)</b>						
会社名英語		○○			◎	200
会社名					◎	200
DUNSナンバー		○○			○○	9
部署名英語		○○			◎	200
部署名					◎	200
担当者名英語		○○			◎	200
担当者名					◎	40
電話番号(担当者連絡先)		○○			◎	100
FAX番号		○○			◎	100
E-MAILアドレス		○○			◎	100
依頼元管理項目1					◎	80
依頼元管理項目2					◎	80
依頼元管理項目3					◎	80
依頼元からの連絡事項(英語)		○○			◎	200
依頼元からの連絡事項(日本語)					◎	200
<b>◆基本情報(回答元に関する情報)</b>						
回答元記入日(YYYY/MM/DD)	◎	○○		○○(YYYY/MM/DD)		
会社名英語	◎いずれか一方	○○			◎	200
会社名					◎	200
DUNSナンバー		○○			○○	9
住所英語		○○			○○	200
住所					◎	200
部署名英語		○○			◎	200
部署名					◎	200
記入者名英語	◎いずれか一方	○○			◎	200
記入者名					◎	40
電話番号	◎	○○			◎	100
FAX番号		○○			◎	100
E-MAILアドレス		○○			◎	100
依頼元管理項目4					◎	80
依頼元管理項目5					◎	80
依頼元管理項目6					◎	80
回答に関する追加情報(英語)		○○			◎	200
回答に関する追加情報(日本語)					◎	200
<b>◆部品単位行</b>						
依頼元の製品/部品番号		○○			○○	200
依頼元の製品/部品/材料名称					◎	160
材料グレードNo.					◎	60
金属記号・JIS記号					◎	60
メーカー着色No.					◎	40
板厚(mm)		○○	○○			
色					◎	60
径(mm)		○○	○○			
依頼元項目1					◎	40
依頼元項目2					◎	40
依頼元項目3					◎	40
メーカー名	◎				◎	200
製品/部品/材料番号(回答元)	◎				○○	200
製品/部品/材料名称(回答元)					◎	160
回答元項目1					◎	200
回答元項目2					◎	200
回答元項目3					◎	200
データバージョン					◎	40
改訂日 YYYY/MM/DD		○○	○○	○○(YYYY/MM/DD)		
調査単位	◎					
調査単位質量(g/調査単位)	◎	○○	○○			
含有総合判定	◎					

## 別表2. [エラーチェック 1]または[エラーチェック 2]ボタンによる第二階層のデータのチェック内容

○印は、データ入力時のチェック、◎印は「エラーチェック 1」または「エラーチェック 2」ボタン押下げ時などにおけるチェック。

注): データの値の妥当性チェックに関しては、本文を参照下さい。

名称	チェック内容					
	必須	全角	数値	日付	桁数チェック	桁数
<b>◆含有化学物質群情報</b>						
閾値レベルによる含有判定(Y/N)	◎					
総含有量(mg)	◎	○○	○○			
使用用途・目的	◎				◎	120
使用部位	◎				◎	120
最大均質材料含有率(ppm)	◎					
含有化学物質に関する追記事項					◎	120

## 別表3. [エラーチェック 2]ボタンによる第三階層のデータのチェック内容

○印は、データ入力時のチェック、◎印は「エラーチェックボタン 2」ボタン押下げ時などにおけるチェック。

注): データの値の妥当性チェックに関しては、本文を参照下さい。

名称	チェック内容					
	必須	全角	数値	日付	桁数チェック	桁数
<b>◆含有化学物質情報</b>						
CASNo. (デフォルト表示)	◎	○			○	20
調査単位あたりの化合物含有量(mg)	◎	○				
使用用途・目的	◎				○	120
使用部位	◎				○	120
調査単位あたりの重量濃度(自動計算)(wt%)	◎					
含有化学物質に関する追記事項					○	120

別表 4.

**使用用途分類の整合性チェックロジック (追加物質及び使用用途分類の更新を反映して改訂)**

1. <含有判定(Y/N)／使用用途分類の整合性チェックロジック内容>

- 1) 含有判定Yに該当する使用用途分類が一つも選択されていない状態で含有判定Yが選択されている場合、エラーとする。同条件で含有判定Nが選択されている場合はエラーとしない。
- 2) 含有判定Yに該当する使用用途分類が、一つでも選択されている状態で含有判定Nが選択されている場合、エラーとする。同条件で含有判定Yが選択されている場合にはエラーとしない。

2. <『均質材料含有率』の入力数値の整合性チェックロジック内容>

使用用途分類コードが選択されている行の「最大均質材料含有率」の入力数値の整合性をチェックし、設定数値以下または超える場合にエラーとする。

(注)本整合性チェックは、第二階層目シートに対してのみ実施する。

物質群分類 No.	物質群	右に該当する含有判定 Y/N	使用用途分類コード	『均質材料含有率』の入力数値の整合性チェック	備考
A05	カドミウム/カドミウム化合物	Y	Cd-R-3	100ppm以下でエラー	
			Cd-R-4	100ppm以下でエラー	
			Cd-R-6	100ppm以下でエラー	
			Cd-R-8	100ppm以下でエラー	
			Cd-R-9	100ppm以下でエラー	
			Cd-R-10	100ppm以下でエラー	
			Cd-R-11	100ppm以下でエラー	
			Cd-E-2	100ppm以下でエラー	
			Cd-B-2	-	
			Cd-J-0	100ppm以下でエラー	
			Cd-J-99	100ppm以下でエラー	
A07	六価クロム化合物	Y	Cr-R-2	1000ppm以下でエラー	
			Cr-E-1	1000ppm以下でエラー	
			Cr-E-2	1000ppm以下でエラー	
			Cr-E-3	1000ppm以下でエラー	
A09	鉛/鉛化合物	Y	Cr-J-0	1000ppm以下でエラー	
			Cr-J-99	1000ppm以下でエラー	
			Cr-R-0	1000ppm超でエラー	
			Cr-RE-98	1000ppm超でエラー	
A09	鉛/鉛化合物	Y	Pb-RE-3	1000ppm以下でエラー	
			Pb-RE-4	1000ppm以下でエラー	
			Pb-RE-5	1000ppm以下でエラー	
			Pb-RE-6	1000ppm以下でエラー	
			Pb-RE-7	1000ppm以下でエラー	
			Pb-RE-8	1000ppm以下でエラー	
			Pb-RE-12	1000ppm以下でエラー	
			Pb-E-20	1000ppm以下でエラー	
			Pb-RE-10	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-1	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-2	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-3	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-5	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-8	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-10	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-11	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-15	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-17	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-18	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-22	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-23	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-24	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-25	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-26	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-27	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-30	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-31	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-32	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-33	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-34	1000ppm以下でエラー	
			Pb-R-35	1000ppm以下でエラー	
			Pb-E-1	1000ppm以下でエラー	
			Pb-E-3	1000ppm以下でエラー	
			Pb-E-4	1000ppm以下でエラー	
			Pb-E-5	1000ppm以下でエラー	
			Pb-E-6	1000ppm以下でエラー	
			Pb-E-7	1000ppm以下でエラー	
			Pb-E-10	1000ppm以下でエラー	
			Pb-E-11	1000ppm以下でエラー	
			Pb-E-12	1000ppm以下でエラー	
			Pb-E-13	1000ppm以下でエラー	
			Pb-E-15	1000ppm以下でエラー	
			Pb-E-16	1000ppm以下でエラー	
			Pb-E-17	1000ppm以下でエラー	
			Pb-E-18	1000ppm以下でエラー	
			Pb-E-19	1000ppm以下でエラー	
			Pb-E-21	1000ppm以下でエラー	
Pb-E-22	1000ppm以下でエラー				
Pb-E-23	1000ppm以下でエラー				
Pb-J-1	-				
Pb-J-3	-				
Pb-J-4	-				
Pb-B-1	-				
Pb-J-0	1000ppm以下でエラー				
Pb-J-99	1000ppm以下でエラー				
Pb-R-0	1000ppm超でエラー				
Pb-RE-98	1000ppm超でエラー				
A09	鉛/鉛化合物	N			

物質群分類 No.	物質群	右に該当する含有判定Y/N	使用用途分類コード	『均質材料含有率』の入力数値の整合性チェック	備考
A10	水銀/水銀化合物	Y	Hg-R-26	-	
			Hg-R-17	-	
			Hg-R-28	-	
			Hg-R-9	-	
			Hg-R-20	-	
			Hg-R-11	-	
			Hg-R-12	-	
			Hg-R-13	-	
			Hg-R-14	-	
			Hg-R-15	-	
			Hg-B-1	-	
			Hg-J-0	1000ppm以下でエラー	
			Hg-J-99	1000ppm以下でエラー	
			Hg-R-0	1000ppm超でエラー	
N	Hg-RE-98	1000ppm超でエラー			
A11	ニッケル	Y	Ni-J-1	-	
		N	Ni-J-2	-	
		N	Ni-J-98	-	
A17	トリブチルスズ=オキシド(TBTO)	Y	A17-J-4	-	
		N	A17-J-98	-	
A28	三置換有機スズ化合物	Y	A28-J-4	1000ppm以下でエラー	
		Y	A28-J-5	-	
A23	ジブチルスズ化合物(DBT)	Y	A28-J-97	1000ppm超でエラー	
			A23-J-1	1000ppm以下でエラー	
			A23-J-2	1000ppm以下でエラー	
			A23-J-3	1000ppm以下でエラー	
			A23-J-4	1000ppm以下でエラー	
N	A23-J-98	1000ppm超でエラー			
A24	ジオクチルスズ化合物(DOT)	Y	A24-J-0	1000ppm以下でエラー	
		N	A24-J-1	-	
A19	酸化ベリリウム (CAS No. 1304-56-9)	Y	A19-J-0	-	
		N	A19-J-98	-	
B02	ポリ臭化ビフェニル類 (PBB類)	Y	B02-J-0	1000ppm以下でエラー	
		Y	B02-J-99	1000ppm以下でエラー	
		N	B02-R-0	1000ppm超でエラー	
B03	ポリ臭化ジフェニルエーテル類 (PBDE類)	Y	B02-R-98	1000ppm超でエラー	
		Y	B03-J-0	1000ppm以下でエラー	
		N	B03-J-99	1000ppm以下でエラー	
B08	臭素系難燃剤(PBB類、PBDE類およびHBCDDを除く)	Y	B03-R-0	1000ppm超でエラー	
		Y	B03-R-98	1000ppm超でエラー	
		N	B08-J-3	-	
B18	塩素系難燃剤	Y	B08-J-5	-	
		Y	B08-J-4	-	
		N	B08-J-97	-	
B05	ポリ塩化ビフェニル類(PCB類)及び特定代替物質	Y	B18-J-0	-	
		N	B18-J-1	-	
B15	ポリ塩化ターフェニル類(PCT類)	Y	B18-J-2	-	
		N	B18-J-98	-	
B06	ポリ塩化ナフタレン(塩素数が3以上)	Y	B05-J-1	-	
		N	B05-J-98	-	
B12	過塩素酸塩	Y	B15-J-2	-	
		N	B15-J-97	-	
B13	パーフルオロオクタンスルホン酸塩(PFOS)	Y	Y	B06-J-1	-
			Y	B12-J-0	-
			Y	B12-J-98	-
			Y	B13-J-0	-
			Y	B13-J-1	-
			Y	B13-J-2	-
			Y	B13-J-3	-
		N	N	B13-J-4	-
			N	B13-J-6	-
			N	B13-J-7	-
			N	B13-J-8	-
			N	B13-J-9	-
			N	B13-J-92	-
			N	B13-J-93	-
B10	フッ素系温室効果ガス(HFC、PFC、SF6)	Y	B13-J-94	-	
		N	B13-J-95	-	
B19	ポリ塩化ビニル(PVC)およびPVCコポリマー	Y	B13-J-96	-	
		N	B13-J-96	-	
C01	アスベスト類	Y	B13-J-89	-	
		N	B13-J-90	-	
C02	一部の芳香族アミンを生成するアゾ染料・顔料	Y	B13-J-91	-	
		N	B10-J-0	-	
C04	オゾン層破壊物質	Y	B10-J-98	-	
		N	B19-J-1	-	
C06	放射性物質	Y	B19-J-98	-	
		N	C01-J-1	-	
C07	ホルムアルデヒド	Y	C01-J-98	-	
		N	C02-J-2	-	
C08	2-(2H-1,2,3-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-tert-ブチルフェニール	Y	C02-J-3	-	
		N	C02-J-98	-	
C09	フタル酸エステル類 グループ1 (BBP, DBP, DEHP)	Y	C04-J-1	-	
		Y	C06-J-1	-	
		N	C06-J-98	-	
		N	C07-J-0	-	
C10	フタル酸エステル類 グループ2 (DIDP, DINP, DNOP)	Y	C07-J-2	-	
		Y	C07-J-97	-	
		N	C07-J-97	-	
		N	C08-J-0	-	
C11	ジメチルフマレート(フタル酸ジメチル)	Y	C08-J-98	-	
		N	C09-J-1	1000ppm以下でエラー	
C47	フタル酸ジイソデシル(DIDP)	Y	C09-J-2	1000ppm以下でエラー	
		N	C09-J-96	1000ppm以下でエラー	
		N	C09-J-97	1000ppm超でエラー	
C48	フタル酸ジ-n-ヘキシル(DnHP)	Y	C10-J-0	1000ppm以下でエラー	
		Y	C10-J-1	1000ppm以下でエラー	
		N	C10-J-97	1000ppm以下でエラー	
C48	フタル酸ジ-n-ヘキシル(DnHP)	Y	C10-J-98	1000ppm超でエラー	
		N	C11-J-0	-	
C47	フタル酸ジイソデシル(DIDP)	Y	C11-J-98	-	
		N	C47-J-0	-	
C48	フタル酸ジ-n-ヘキシル(DnHP)	Y	C47-J-98	-	
		N	C48-J-0	-	
C48	フタル酸ジ-n-ヘキシル(DnHP)	Y	C48-J-0	-	
		N	C48-J-98	-	

物質群分類 No.	物質群	右に該当する含有判定 Y/N	使用用途分類コード	『均質材料含有率』の入力数値の整合性チェック	備考
A17	トリブチルスズ=オキシド(TBTO)	Y	A17-J-3	—	対象外
		N	A17-J-97	—	対象外
A20	五酸化二ヒ素	Y	A20-J-0	—	対象外
		N	A20-J-98	—	対象外
A21	三酸化二ヒ素	Y	A21-J-0	—	対象外
		N	A21-J-98	—	対象外
B11	ヘキサブロモシクロデカン(HBCDD)	Y	B11-J-0	—	対象外
		N	B11-J-98	—	対象外
B09	短鎖型塩化パラフィン (炭素数10~13)	Y	B09-J-1	—	対象外
		N	B09-J-98	—	対象外
B16	リン酸トリス(2-クロロエチル) (TCEP)	Y	B16-J-0	—	対象外
		N	B16-J-98	—	対象外
C12	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) (DEHP)	Y	C12-J-0	—	対象外
		N	C12-J-98	—	対象外
C13	フタル酸ジブチル(DBP)	Y	C13-J-0	—	対象外
		N	C13-J-98	—	対象外
C14	フタル酸ブチルベンジル (BBP)	Y	C14-J-0	—	対象外
		N	C14-J-98	—	対象外
A22	塩化コバルト(CoCl <sub>2</sub> )	Y	A22-J-0	—	対象外
		N	A22-J-98	—	対象外
A25	クロム酸鉛(II)	Y	A25-J-0	—	対象外
		N	A25-J-98	—	対象外
A26	硫酸モリブデン酸クロム酸鉛	Y	A26-J-0	—	対象外
		N	A26-J-98	—	対象外
A27	ピグメントイエロー 34	Y	A27-J-0	—	対象外
		N	A27-J-98	—	対象外
C15	フタル酸ジイソブチル (DIBP)	Y	C15-J-0	—	対象外
		N	C15-J-98	—	対象外
C16	アルミノ珪酸塩,耐火セラミック繊維	Y	C16-J-0	—	対象外
		N	C16-J-98	—	対象外
C17	ジルコニアアルミノ珪酸塩,耐火セラミック繊維	Y	C17-J-0	—	対象外
		N	C17-J-98	—	対象外
C18	ホウ酸	Y	C18-J-0	—	対象外
		N	C18-J-98	—	対象外
C19	四ホウ酸二ナトリウム無水物	Y	C19-J-0	—	対象外
		N	C19-J-98	—	対象外
C20	七酸化二ナトリウム四ホウ素水和物 (四ホウ酸二ナトリウム水和物)	Y	C20-J-0	—	対象外
		N	C20-J-98	—	対象外
C21	1,2-ベンゼンジカルボン酸、炭素数7の側鎖炭化水素を主成分とする炭素数6~8のフタル酸エステル類 (DIHP)	Y	C21-J-0	—	対象外
		N	C21-J-98	—	対象外
C22	1,2-ベンゼンジカルボン酸、炭素数7~11の分岐および直鎖アルキルエステル類 (DHNUP)	Y	C22-J-0	—	対象外
		N	C22-J-98	—	対象外
B17	[4-[ビス(4-ジメチルアミノフェニル)メチレン]-2,5-シクロヘキサジエン-1-イルイデン]ジメチルアンモニウムクロリド (別名CI)	Y	B17-J-0	—	対象外
		N	B17-J-98	—	対象外
A29	クロム酸鉛ストロンチウム	Y	A29-J-0	—	対象外
		N	A29-J-98	—	対象外
B20	2,2'-ジクロロ-4,4'-メチレンジアニリン(MOCA)	Y	B29-J-0	—	対象外
		N	B29-J-98	—	対象外
A30	クロム酸ヒドロキシ亜鉛カリウム	Y	A30-J-0	—	対象外
		N	A30-J-98	—	対象外
A31	クロム酸八水酸化五亜鉛	Y	A31-J-0	—	対象外
		N	A31-J-98	—	対象外
C23	フタル酸ビス(2-メキシエチル)	Y	C23-J-0	—	対象外
		N	C23-J-98	—	対象外
C24	4-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェノール、 (4-tert-オクチルフェノール)	Y	C24-J-0	—	対象外
		N	C24-J-98	—	対象外
C25	ビス(2-メキシエチル)エーテル	Y	C25-J-0	—	対象外
		N	C25-J-98	—	対象外
C26	N,N-ジメチルアセトアミド(DMAC)	Y	C26-J-0	—	対象外
		N	C26-J-98	—	対象外
B23	デカブロモジフェニルエーテル	Y	B23-J-0	—	対象外
		N	B23-J-98	—	対象外
A48	塩基性亜硫酸鉛	Y	A48-J-0	—	対象外
		N	A48-J-98	—	対象外
C38	1,2-ビス(2-メキシエトキシ)エタン(TEGDME;トリグリム)	Y	C38-J-0	—	対象外
		N	C38-J-98	—	対象外
A49	二塩基性リン酸鉛	Y	A49-J-0	—	対象外
		N	A49-J-98	—	対象外
C39	1,2-ジメキシエタン;エチレングリコールジメチルエーテル(EGDME)	Y	C39-J-0	—	対象外
		N	C39-J-98	—	対象外
C40	4-アミノアゾベンゼン	Y	C40-J-0	—	対象外
		N	C40-J-98	—	対象外
A50	三塩基性硫酸鉛	Y	A50-J-0	—	対象外
		N	A50-J-98	—	対象外
A51	オレンジレッド(四酸化鉛)	Y	A51-J-0	—	対象外
		N	A51-J-98	—	対象外
A52	パイクロア、C.I.ピグメントイエロー-41	Y	A52-J-0	—	対象外
		N	A52-J-98	—	対象外
A53	四塩基性硫酸鉛	Y	A53-J-0	—	対象外
		N	A53-J-98	—	対象外
C41	1,2-ジエトキシエタン	Y	C41-J-0	—	対象外
		N	C41-J-98	—	対象外
C42	三酸化二ホウ素	Y	C42-J-0	—	対象外
		N	C42-J-98	—	対象外

物質群分類 No.	物質群	右に該当する含有判定 Y/N	使用用途分類コード	『均質材料含有率』の入力数値の整合性チェック	備考
A54	ジクロロジブチルスズ (DBTC)	Y	A54-J-0	—	対象外
		N	A54-J-98	—	対象外
A55	シアナミド鉛	Y	A55-J-0	—	対象外
		N	A55-J-98	—	対象外
C43	N,N-ジメチルホルムアミド	Y	C43-J-0	—	対象外
		N	C43-J-98	—	対象外
A56	ケイ酸(H <sub>2</sub> Si <sub>2</sub> O <sub>5</sub> )バリウム塩(1:1)、鉛をドープ	Y	A56-J-0	—	対象外
		N	A56-J-98	—	対象外
C44	1,2-ベンゼンジカルボン酸、ジベンチルエステル、分岐および直鎖	Y	C44-J-0	—	対象外
		N	C44-J-98	—	対象外
C45	フタル酸ジイソペンチル (DIPP)	Y	C45-J-0	—	対象外
		N	C45-J-98	—	対象外
C46	フタル酸n-ペンチル-イソペンチル	Y	C46-J-0	—	対象外
		N	C46-J-98	—	対象外
A57	三酸化チタン鉛、チタン酸鉛	Y	A57-J-0	—	対象外
		N	A57-J-98	—	対象外
A58	チタン酸ジルコニウム酸鉛	Y	A58-J-0	—	対象外
		N	A58-J-98	—	対象外
A59	オキソ硫酸鉛	Y	A59-J-0	—	対象外
		N	A59-J-98	—	対象外
A60	フタル酸ジオキソ三鉛	Y	A60-J-0	—	対象外
		N	A60-J-98	—	対象外
A61	ジオキソビス(ステアリン酸)三鉛	Y	A61-J-0	—	対象外
		N	A61-J-98	—	対象外
A62	脂肪酸鉛塩(炭素数16~18)	Y	A62-J-0	—	対象外
		N	A62-J-98	—	対象外
A63	二硝酸鉛、硝酸鉛(Ⅱ)	Y	A63-J-0	—	対象外
		N	A63-J-98	—	対象外

### 3. <J01 の使用用途分類と各 SVHC の重量濃度 (自動計算値) との整合性チェックロジック内容>

物質群分類No.	物質群	右に該当する含有判定 Y/N	使用用途分類	各SVHCの重量濃度(自動計算値)の数値と使用用途分類の整合性チェック
J01	特定のREACH規則認可対象候補物質(SVHC) — Ver.4.3調査回答マニュアル 20ページの別表A-2参照	Y	J01-J-0に該当	調査単位あたり0.1重量%以下の数値でエラー
		N	J01-J-98に該当	調査単位あたり0.1重量%を超える数値でエラー

#### エラーメッセージ

- (J01) 含有判定 Y で、J01-J-01 に「調査単位あたりの重量濃度」が 0.1(wt%)以下の情報が存在します。
- (J01) 含有判定 N で、J01-J-98 に「調査単位あたりの重量濃度」が 0.1(wt%)を超える情報が存在します。

# 別表 5.

## 3階層目データフォーマット説明

第3階層目のデータを元にJGPファイル(300行~700行目)を生成する仕様について説明する。

<第3階層目イメージ>

### 含有化学物質情報

ツール上の隠し項目		クライテリア	物質群分類No.	物質群		使用用途分類コード	使用用途分類	
		R	J01	特定のREACH規則認可対象候補物質(SVHC) - Ver.4.3調査回答マニュアル20ページの別表A-2参照		J01-J-0	対象となる個々の物質単位で、調査単位あたりの重量	
		含有する特定物質情報					調査単位あたりの化合物含有量(mg)	使用用途-目的
物質群分類No.	使用用途分類コード	CAS.No.	EC.No.	含有物質名称(日)	含有物質名称(英)			
A17	A17-J-3	CAS-001	EC-001	名称-001	名称(英)-001	100.00	使用用途1	
A20	A20-J-0	CAS-002	EC-002	名称-002	名称(英)-002	200.00	使用用途2	
		...	....	....	....			

ツール上の隠し項目		クライテリア	物質群分類No.	物質群		使用用途分類コード	使用用途分類	
		R	J01	特定のREACH規則認可対象候補物質(SVHC) - Ver.4.3調査回答マニュアル20ページの別表A-2参照		J01-J-98	対象となる個々の物質単位で、調査単位あたりの重量	
		含有する特定物質情報					調査単位あたりの化合物含有量(mg)	使用用途-目的
物質群分類No.	使用用途分類コード	CAS.No.	EC.No.	含有物質名称(日)	含有物質名称(英)			
A17	A17-J-97	CAS-001	EC-001	名称-001	名称(英)-001	100.00	使用用途1	
A20	A20-J-98	CAS-002	EC-002	名称-002	名称(英)-002	200.00	使用用途2	
		...	....	....	....			

<300行~700行目データフォーマット>

### ■項目毎の出力内容

#### 【物質群単位行(300行)】

2階層目の物質群単位行(300行)データを出力する際に、3階層目の本データも出力する。

データ順	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
項目	行コード	物質群分類No	含有量自動 ※1	総含有量(mg)	使用部位 ※1	使用目的 ※1	予備13 ※1	予備14 ※1	予備15 ※1	閾値レベルによる含有判定	含有化学物質に関する 追記事項
長さ(byte)	3	3	20 以下	20 以下	80 以下	80 以下	80 以下	80 以下	80 以下	1	120 以下
文字種別	半角英数	半角英数	半角英数	半角英数	半角英数	半角英数	半角英数	半角英数	半角英数	半角英数	半角英数
備考	300									0 : N 1 : Y	
出力内容	300(固定値)	該当の物質群分類 No ※A17~C17の16物質群全て		3階層目の「調査単位あたりの化合物含有量」を出力  ※使用用途分類コードJ01-J-0/J01-J-98の合計値を出力する。  ※A17(TBTO)の場合は、2階層目の含有判定が「Y」かつ総含有量が設定されている際は、2階層目の総含有量も出力する。						・使用用途分類コードJ01-J-0に相当する項目に3階層目の調査単位あたりの化合物含有量が設定されている場合は、(含有量は含まない) ・使用用途分類コードJ01-J-98に相当する項目に3階層目の調査単位あたりの化合物含有量が設定されている場合は、(含有量は含む) ・上記以外で、かつ、2階層目の11に値が設定されている場合は、Nとする。 ・上記以外は、含有判定を「Blank」とする。 ・A17は以下の通りとする。 ――2階層目の含有判定が「Y」且、かつは、3階層目のA17の含有判定が「Y」の場合、含有判定「Y」 ――上記以外で、2階層目の含有判定が「N」且、かつは、3階層目のA17の含有判定が「Y」の場合、含有判定「Blank」 ――2階層目の含有判定が「Y」且、かつは、3階層目のA17の含有判定が「Blank」の場合、含有判定「Blank」	2階層目の「含有化学物質に関する追記事項」を出力

【使用用途・部位単位行(600行)】

2階層目の該当用途欄にチェックした行を出力する。

※例えば、2階層のA17-J-4、A17-J-98の該当用途、3階層目のA17-J-3、A17-J-97の該当用途(J01-J-0、J01-J-98)が全てチェックされている場合、物質群単位行(300行)1レコードに対して、使用用途・部位単位行(600行)4レコードを出力する

データ順	1	2	3	4	5	6	7
項目	行コード	使用用途分類コード	使用用途・目的	使用部位	含有量(mg)	最大均質材料含有率(ppm)	含有化学物質に関する追記事項※1
長さ(byte)	3	12 以下	120 以下	120 以下	20 以下	20 以下	80 以下
文字種別	半角数	半角英数	半角英数	半角英数	半角数	半角数	半角英数
備考	600						
出力内容	600(固定値)	3階層目の「使用用途分類コード」(隠し項目)を出力	-(ハイフン)を出力。但し、A17(TBTO)は、第2階層目の設定値があればその設定値を出力	-(ハイフン)を出力。但し、A17(TBTO)は、第2階層目の設定値があればその設定値を出力		プランクを出力。但し、A17(TBTO)は、第2階層目の設定値があればその設定値を出力。	

【物質単位行(700行)】

「CAS.No.」「使用用途・目的」、「使用部位」、「調査単位あたりの化合物 含有量(mg)」の全てが入力されている行を出力する。(但し、2階層目の該当用途欄にチェックされている場合)

データ順	1	2	3	4	5	6	7
項目	行コード	CAS.No.	調査単位あたりの化合物含有量(mg)	使用用途・目的	使用部位	調査単位あたりの重量濃度(自動計算)	含有化学物質に関する追記事項
長さ(byte)	3	20 以下	20 以下	120 以下	120 以下	20 以下	120 以下
文字種別	半角数	半角英数	半角数	半角英数	半角英数	半角数	半角英数
備考	700						
出力内容	700(固定値)	3階層目設定値	3階層目設定値	3階層目設定値	3階層目設定値	3階層目設定値	3階層目設定値

<使用用途分類/CAS.No.の関連>

ツール上では、隠し項目となっている使用用途分類/CAS.No.の関連について以下に説明する。

(下記の関連をもとに、300行~700行データを自動生成する)

◆J01-J-0

使用用途分類コード	CAS.No.
A17-J-3	56-35-9
A20-J-0	1303-28-2
A21-J-0	1327-53-3
B11-J-0	25637-99-4
B11-J-0	3194-55-6
B11-J-0	134237-50-6
B11-J-0	134237-51-7
B11-J-0	134237-52-8
B09-J-1	85535-84-8
B16-J-0	115-96-8
C12-J-0	117-81-7
C13-J-0	84-74-2
C14-J-0	85-68-7
A22-J-0	7646-79-9
A25-J-0	7758-97-6
A26-J-0	12656-85-8
A27-J-0	1344-37-2
C15-J-0	84-69-5
C16-J-0	C16-J-NA
C17-J-0	C17-J-NA
C18-J-0	10043-35-3
C18-J-0	11113-50-1
C19-J-0	1303-96-4
C19-J-0	1330-43-4
C19-J-0	12179-04-3
C20-J-0	12267-73-1
C21-J-0	71888-89-6
C22-J-0	68515-42-4
B17-J-0	548-62-9
A29-J-0	7789-06-2
B20-J-0	101-14-4
A30-J-0	11103-86-9
A31-J-0	49663-84-5
C23-J-0	117-82-8
C24-J-0	140-66-9
C25-J-0	111-96-6
C26-J-0	127-19-5
B23-J-0	1163-19-5
A48-J-0	62229-08-7
C38-J-0	112-49-2
A49-J-0	12141-20-7
C39-J-0	110-71-4
C40-J-0	60-09-3
A50-J-0	12202-17-4
A51-J-0	1314-41-6
A52-J-0	8012-00-8
A53-J-0	12065-90-6
C41-J-0	629-14-1
C42-J-0	1303-86-2
A54-J-0	683-18-1
A55-J-0	20837-86-9
C43-J-0	68-12-2
A56-J-0	68784-75-8
C44-J-0	84777-06-0
C45-J-0	605-50-5
C46-J-0	776297-69-9
A57-J-0	12060-00-3
A58-J-0	12626-81-2
A59-J-0	12036-76-9
A60-J-0	69011-06-9
A61-J-0	12578-12-0
A62-J-0	91031-62-8
A63-J-0	10099-74-8

◆J01-J-98

使用用途分類コード	CAS.No.
A17-J-97	58-35-9
A20-J-98	1303-28-2
A21-J-98	1327-53-3
B11-J-98	25637-99-4
B11-J-98	3194-55-6
B11-J-98	134237-50-6
B11-J-98	134237-51-7
B11-J-98	134237-52-8
B09-J-98	85535-84-8
B16-J-98	115-96-8
C12-J-98	117-81-7
C13-J-98	84-74-2
C14-J-98	85-68-7
A22-J-98	7646-79-9
A25-J-98	7758-97-6
A26-J-98	12656-85-8
A27-J-98	1344-37-2
C15-J-98	84-69-5
C16-J-98	C16-J-NA
C17-J-98	C17-J-NA
C18-J-98	10043-35-3
C18-J-98	11113-50-1
C19-J-98	1303-96-4
C19-J-98	1330-43-4
C19-J-98	12179-04-3
C20-J-98	12267-73-1
C21-J-98	71888-89-6
C22-J-98	68515-42-4
B17-J-98	548-62-9
A29-J-98	7789-06-2
B20-J-98	101-14-4
A30-J-98	11103-86-9
A31-J-98	49663-84-5
C23-J-98	117-82-8
C24-J-98	140-66-9
C25-J-98	111-96-6
C26-J-98	127-19-5
B23-J-98	1163-19-5
A48-J-98	62229-08-7
C38-J-98	112-49-2
A49-J-98	12141-20-7
C39-J-98	110-71-4
C40-J-98	60-09-3
A50-J-98	12202-17-4
A51-J-98	1314-41-6
A52-J-98	8012-00-8
A53-J-98	12065-90-6
C41-J-98	629-14-1
C42-J-98	1303-86-2
A54-J-98	683-18-1
A55-J-98	20837-86-9
C43-J-98	68-12-2
A56-J-98	68784-75-8
C44-J-98	84777-06-0
C45-J-98	605-50-5
C46-J-98	776297-69-9
A57-J-98	12060-00-3
A58-J-98	12626-81-2
A59-J-98	12036-76-9
A60-J-98	69011-06-9
A61-J-98	12578-12-0
A62-J-98	91031-62-8
A63-J-98	10099-74-8

## 別表 6

### 調査回答ツールバージョンアップ管理ルール（旧 JGPSSI）：

#### 1. データフォーマットのバージョンアップを反映したツールのバージョンアップルール：

- ① データフォーマットの先頭番号が上がった場合には、対応するツールのバージョンの先頭番号を上げる。（例：データフォーマット Ver5.00 → ツール Ver5.00）

注）：データフォーマットのバージョンアップ管理ルールは Ver4.3 調査回答マニュアルの別紙 9 を参照。

- ② データフォーマットの少数点 1 桁目が上がった場合には、対応するツールのバージョンの少数点 1 桁目の番号を上げる。（例：データフォーマット Ver4.20 → ツール Ver4.20）
- ③ データフォーマットの少数点 2 桁目が上がった場合には、対応するツールのバージョンの少数点 2 桁目の番号を上げる。（例：データフォーマット Ver4.21 → ツール Ver4.21）
- ④ 上記のデータフォーマットのバージョンアップに連動したツールのバージョンアップ以外に、ツールの各機能を追加・修正などした場合（例：エラーチェックロジック変更）には、ツールのみ、少数点 2 桁目の番号を上げる。  
（例：データフォーマット Ver4.21 → ツール Ver4.22）

#### 2. ツールのバージョンアップに伴う JGP ファイルの拡張子の番号設定ルール：

- ① データフォーマットのバージョンの先頭番号の変更に対応したツールのバージョンアップがあった場合、このツールで出力する JGP ファイルの拡張子の末尾の番号も上げる。  
（例：ツール Ver4.00 <JGP4> → ツール Ver5.00 <JGP5> ）
- ② 上記①による拡張子の変更に支障がある場合には、別途関連 WG で協議して決める。
- ③ ツールのバージョン番号の少数点 2 桁目が上がった場合の拡張子は基本的には変更しないが、状況に応じて別途関連 WG で協議して決める。

**発行：国内 VT62474**

<http://www.vt62474.jp/index.html>